

一般社団法人日本健康・栄養システム学会
『平成 23 年度臨床栄養師研修のご案内』

- 臨床栄養師研修
- 臨床栄養師研修 基礎コース
応用コース
- 栄養サポートチーム研修
- 栄養ケアチーム研修

2011 年度

一般社団法人 日本健康・栄養システム学会

Japanese Society on Nutrition Care and Management

はじめに

日本健康・栄養システム学会
理事長 武藤 泰敏



栄養ケア・マネジメントが医療・保健・福祉において制度化され、管理栄養士が臨床の現場で果たす役割は増大の一途にあります。しかし大学の管理栄養士養成課程における実地臨床研修は十分とはいえ、管理栄養士は就職した後、現場における限られた指導や自らの経験により臨床能力を養っているのが現状です。「習うより慣れろ」、「技は見て盗め」は日本の伝統的な教育理念ではありますが、決して能率のよい方法ではありませんし、現場の患者さんにとっては迷惑以外のなにものでもありません。

日本健康・栄養システム学会では平成16年、自立した専門職として多職種と連携し、患者・利用者のために栄養ケア・マネジメントを展開できる栄養士を育成することを目的に臨床栄養師研修・認定制度を発足させました。本研修は米国の登録栄養士（registered dietician）の教育制度を手本としており、特定の領域の突出した専門家の育成ではなく、幅広い経験と知識を持ちエビデンスに基づく科学的な栄養ケアを遂行できる栄養士の育成を目指しています。急性期や慢性期の栄養ケアや生活習慣病予防のための生活指導まで100時間の認定講座と900時間の臨床研修で、医療従事者としての能力と自信を身につけることを目指しています。現在までに約150名の臨床栄養師が誕生し活躍しております。また、厚生労働省により臨床栄養師資格取得者は、診療報酬における栄養サポートチーム加算取得のための要件を満たすことが認められております。平成23年度は、臨床栄養師研修を基礎・応用コースの其々30時間認定講座と70時間の臨床研修から段階的に研修できるようになりました。

これらの臨床栄養師研修コースは、管理栄養士として将来、病院、介護保険施設などで患者さんを相手に活躍したいと思っている人や生活習慣病の予防のために栄養ケアを行っていきたい人に適しています。またこれまで給食サービスが中心であった病院での管理栄養士の役割が、病棟や外来で患者さんを相手に活動する方向に変化していることに戸惑っている人、これを機会に自分の経験を最新の臨床栄養学の全体像の中で見直してみたいと思っている人、後輩の管理栄養士の指導に頭を悩ませている人など新人からベテランまで多くの方に利用していただけます。

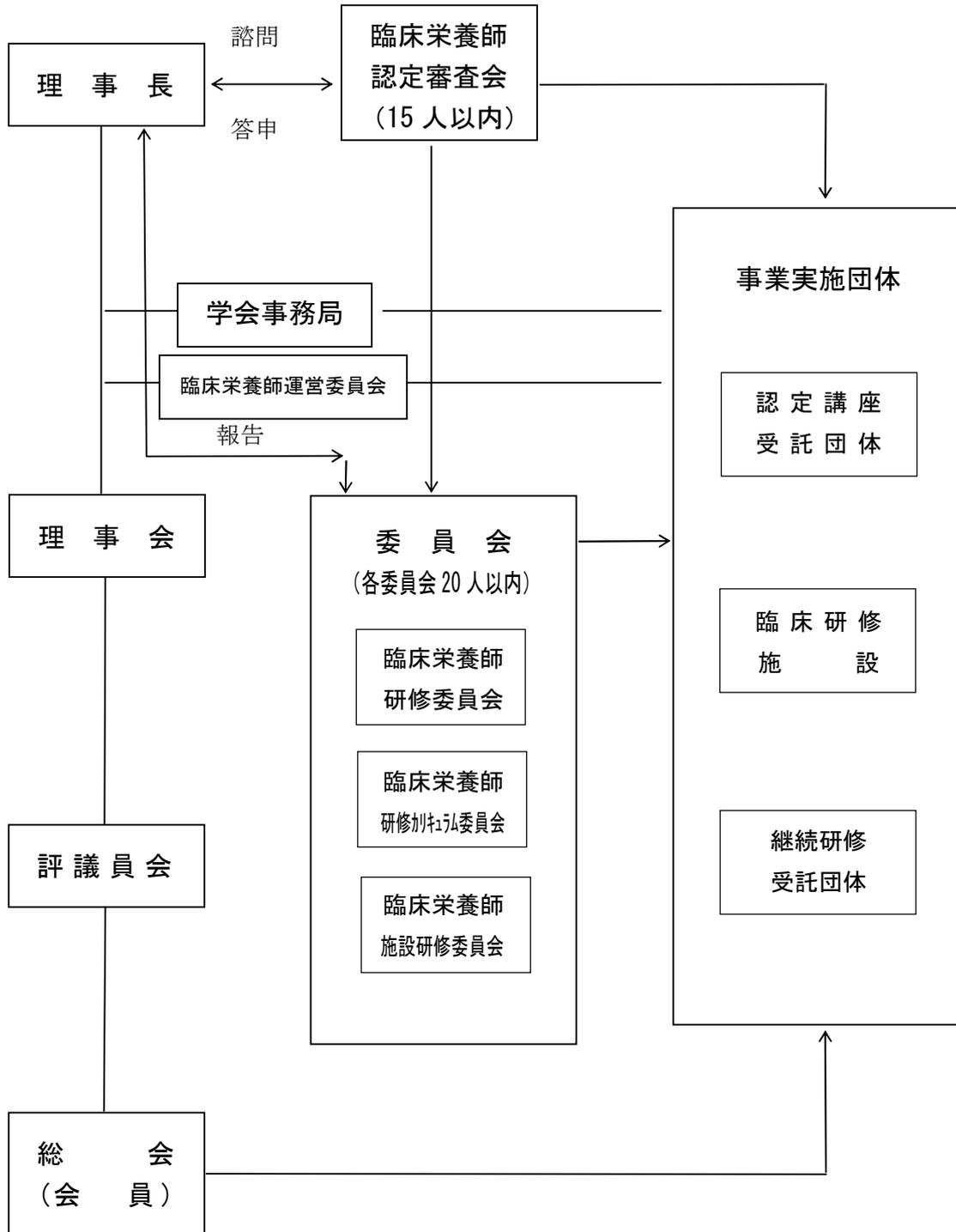
さらに、栄養サポートチーム研修や栄養ケアチーム研修も設置し、管理栄養士をはじめ多職種の方々にご参加頂き、栄養や食べることを支援するチームとして活躍して頂けることを期待しております。

多くの方が研修を受け、生活習慣病の蔓延と医療費高騰で破たん寸前の日本の医療を臨床栄養学を武器に救済する専門職として活躍されることを希望します。

なお、本年度から受託研修施設で教育にあたる管理栄養士や大学院学生に対しては講座や臨床研修の免除規定を設けるなどより多くの方に研修をお受いただきやすくなりました。

詳しくはホームページをご覧ください。

日本健康・栄養システム学会 臨床栄養師養成組織



日本健康・栄養システム学会 理事一覧

H22.7.22 現在

理事長	武藤 泰敏	岐阜大学 名誉教授
副理事長	板倉 弘重	茨城キリスト教大学 生活科学部食物健康科学科 教授
副理事長	竹田 秀	財団法人 竹田総合病院 理事長
理事	井形 昭弘	名古屋学芸大学 大学長
理事	井廻 道夫	昭和大学 教授
理事	宇田 淳	広島国際大学 教授
理事	大谷 幸子	東京大学医学部付属病院 栄養管理室長
理事	大森 正英	東海大学建興福祉学部 食健康学科教授
理事	加藤 章信	盛岡市立病院 院長
理事	加藤 昌彦	椋山女学園大学 教授
理事	木村 隆次	日本介護支援専門員協会 会長
理事	合田 敏尚	静岡県立大学 食品栄養科学部 教授
理事	小山 和作	日本赤十字社 熊本健康管理センター 名誉所長
理事	近藤 和雄	お茶の水女子大学 生活環境教育研究センター 教授
理事	柴田 博	桜美林大学大学院 教授
理事	下門 顕太郎	東京医科歯科大学大学院 教授
理事	杉山 みち子	神奈川県立保健福祉大学 教授
理事	田中 明	女子栄養大学 栄養学部実践栄養学科 教授
理事	野地 有子	千葉大学 教授
理事	信川 益明	慶應義塾大学医学部 特別研究教授
理事	森脇 久隆	岐阜大学医学部附属病院 院長
理事	山下 茂子	水俣市立総合医療センター 科長
理事	堤 ちはる	(社福)恩賜財団母子愛育会日本子ども家庭総合研究所
理事	杉森 裕樹	大東文化大学大学院 教授
理事	渡邊 美鈴	財団法人 脳血管研究所 美原記念病院
監事	高橋佳代子	国家公務員共済組合連合会 九段坂病院 栄養科長
監事	野本 尚子	千葉大学医学部附属病院栄養科科長
事務局長	小山 秀夫	兵庫県立大学大学院 教授

【臨床栄養師研修】

米国の登録栄養士の教育制度を手本にした管理栄養士のための唯一のインターン研修制度。100 時間の認定講座と 900 時間の臨床研修（一般病院、医療療養病床・回復期リハビリテーション・介護保険施設、地域栄養活動・給食経営管理）。臨床研修の一部は症例検討等で相当することができる。修了者は認定試験、論文試験合格後臨床栄養師の資格が授与されるとともに、栄養サポートチーム加算の要件を満たす。

臨床栄養師の定義

臨床栄養師とは、人間栄養学に基づいた臨床栄養の知識、技術およびマネジメント能力を習得し、栄養ケア・マネジメントの質の向上に努めることのできる能力を有している学会員である管理栄養士である(臨床栄養師資格認定規則第 2 条より)

臨床栄養師の 6 つの能力

臨床栄養師は 6 つの能力を備える。①臨床栄養師としての理念、使命感を備える。②専門職のチームメンバーとして、連携のとれた業務活動ができる。③栄養ケア・マネジメントの業務活動ができる。④栄養ケア・マネジメントの業務活動上の問題を明確にし、解決策を提示できる。⑤リーダーとなれるマネジメント能力を備える。⑥積極的に自己学習できる（臨床栄養師資格認定規則第 3 条より）

研修プログラム

臨床栄養師研修は、講義 100 時間の認定講座と臨床研修 900 時間の認定研修である。なお、これらの研修プログラムの達成基準は、米国の登録栄養士の知識、技術、コンピテンシー(competency;実践能力)の達成基準に準拠して作成したものである。臨床栄養師研修カリキュラムにおける達成目標、実施、評価指針は別表参照。

認定講座

認定講座は、6,8 月に開催され 1 年間に取得できるカリキュラムが作成されているが、1 年経過後は延長届け（任意用紙）を行い最長 3 年間での取得も可能である。

認定講座日程

平成 23 年 6 月 7 日(火曜日)～6 月 12 日 (日)

波止場会館(6 月 7 日から 6 月 10 日 神奈川県横浜市)

男女参画センター横浜南 (6 月 11 日から 6 月 12 日 神奈川県横浜市)

平成 23 年 8 月 2 日(火)～8 月 7 日(日) (東京あるいは神奈川)

講座内容

番号	内容	時間	番号	内容	時間
1	倫理とチーム活動	2	10	退院計画・指導	4
2	栄養ケア・マネジメントと情報管理	2	11	在宅栄養ケア・マネジメントの運営 (介護予防を含む)	3
3	科学的根拠に基づいた栄養ケア・マネジメント	2	12	集団の栄養評価と計画	6
4	栄養ケア・マネジメントの運営	4	13	地域栄養活動	2
5	栄養アセスメント・栄養ケア計画	7	14	栄養政策と栄養士活動	4
6	特定保健用食品、保健機能食品・患者用食品	4	15	給食経営管理	4
7	経腸・静脈栄養法	8	16	運営の基礎	8
8	栄養教育	16	17	人材教育と自己研鑽、生涯教育	2
9	症例検討と発表	20	18	特別講義	2

臨床研修

臨床研修は、当学会の認定臨床研修施設において、監督責任者のもとに①急性期病院 350～400 時間、②回復期リハビリテーション・長期療養型医療施設・介護保険施設 150～200 時間、③地域栄養活動（外来、健診、通所サービス、訪問栄養指導 150～200 時間、④介護予防のための栄養改善サービスなど 150～200 時間による 900 時間を実施する。

また、臨床研修は、研修マニュアルに基づいて行われる。研修マニュアルは、臨床研修のカリキュラムやスケジュールが記載されたものである。研修マニュアルは、臨床研修プログラムの達成目標、研修の指針及び評価の指針、マニュアル作成要綱に基づき、実施可能性、具体性を重視して研修施設ごとに作成され、当学会による評価を受けている。

* ①～④の時間配分は研修受託施設側と研修生のニーズに応じて 900 時間に調整可。

研修の履修相当について

認定講座および臨床研修の一部において、履修に相当する下記の要件を認める場合には、履修相当として当該時間を免除することができる。履修相当の申請をする者は、認定講座出願時に「**臨床栄養師認定研修履修相当申請書**」を提出する臨床栄養師認定研修履修相当規則参照)

- ① 第 20 回以降の管理栄養士国家試験合格者については、認定講座 16 時間の履修に相当させることができる。
- ② 日本病態栄養学会認定の「病態栄養専門師」および日本糖尿病療養指導士認定機構認定の「日本糖尿病療養指導士」、日本静脈経腸栄養学会認定の「栄養サポートチーム専門療法士」の有資格者については、認定講座 30 時間および臨床栄養師臨床研修実施細則第 4 条第 3 項 第 1 号から第 3 号に規定する急性期病院の領域の臨床研修 40 時間(平成 18 年度以前の資格認定者については 80 時間)の履修に相当させることができる。ただし、上記の認定資格の取得については、一つに限るものとし、複

数の申請は認めない。

- ③ 日本栄養士会 TNT-D 研修の修了者については認定講座 40 時間の履修に相当させることができる。
- ④ 慢性期医療認定講座の有資格者については、認定講座 40 時間に相当させることができる。
- ⑤ 全国老人福祉施設協議会栄養ケア・マネジメント研修(平成 22 年度以降)については、認定講座8時間に相当させることができる。
- ⑥ 神奈川県立保健福祉大学実践教育センター栄養ケア・マネジメント過程修了者は、認定講座 100 時間に相当させることができる。
- ⑦ 一般社団法人 日本健康・栄養システム学会認定「NCMリーダー」の集中研修の受講修了者については、認定講座 80 時間の履修に相当させることができる。ただし、履修に相当しない認定講座 20 時間については、別途履修するものとする。(履修に相当しない認定講座は、栄養教育 2 時間、在宅栄養ケア・マネジメント 2 時間、集団の栄養評価と計画 2 時間、地域栄養活動 2 時間、経営の基礎 4 時間、人材教育と自己研鑽、生涯学習 2 時間、症例検討 6 時間)
- ⑧ NCMリーダー有資格者であって、臨床栄養師臨床研修実施細則第4条第3項第 1 号から第 3 号に規定する領域において栄養ケア・マネジメントの業務活動経験が3年以上あり、すでに研修目標を達成しているものと認められた者については、臨床研修 800 時間の履修に相当させることができる。ただし、勤務施設の実務経験が3年以上あり、一部の領域における臨床研修の履修に相当させることができると認められたい者であっても、他の領域についての臨床研修は実施しなければならない。
- ⑨ 臨床研修受託施設の勤務者については、臨床栄養師臨床研修実施細則第 4 条第 3 項に規定する①～③の領域において栄養ケア・マネジメントの業務活動経験が 3 年以上あり、すでに業務目標が達成しているものと、臨床栄養師研修委員会によって認められた者については、認定講座 80 時間の履修に相当させることができる。履修に相当しない認定講座 20 時間については、別途履修するものとする(履修を要する認定講座は、栄養教育 2 時間、在宅栄養ケア・マネジメント 2 時間、集団の栄養評価と計画 2 時間、地域栄養活動 2 時間、経営の基礎 4 時間、人材教育と自己研鑽、生涯学習 2 時間、症例検討6時間)。臨床研修は700時間の履修に相当させることができる。この場合、臨床研修の内訳①急性期病院、②医療療養病床、回復期リハビリテーション、介護保険施設 ③地域栄養活動のうち、勤務領域以外において 50 時間以上の臨床研修を履修し、それ以外は、勤務施設の監督責任者のもとで症例検討(1症例が 20 時間に相当)あるいは継続研修を受講(1日が 20 時間に相当)によって相当することができる。
- ⑩ 臨床栄養師研修応用修了者は、認定講座 60 時間、臨床研修 140 時間に相当することができる。ただし、認定講座は臨床栄養師研修基礎・応用において未修了科目を別途履修するものとする。また、臨床研修の内訳①急性期病院、②医療療養病床、回復期リハ、介護保険施設 ③地域栄養活動のうち、勤務領域以外において 50 時間以上の臨床研修を履修し、それ以外は、勤務施設の監督責任者のもとで症例検討(1症例が 20 時間に相当)あるいは継続研修を受講(1日が 20 時間に相当)によって相当することができる。
- ⑪ 栄養サポートチーム研修修了者は、認定講座 30 時間、臨床研修 10 時間に相当することができる。
- ⑫ 臨床栄養師臨床研修実施細則第3条1項により臨床栄養師と同等以上の能力があると臨床栄養師研修委員会によって判定された、NCMリーダーの資格を有さない受託研修施設監督責任者については、認定講座あるいは臨床研修の相当時間は、本条⑭によって、臨床栄養師研修委員会が判断する。

- ⑬ 臨床栄養師養成を目的とした学会活動として臨床栄養師研修の講義を担当した者については、対象者1人1時間当たり、認定講座 20 分もしくは、臨床研修 20 分の履修に相当させることができる。
- ⑭ 臨床栄養師研修委員会等細則に規定する各委員会の委員としての活動が特に顕著であると理事長によって認められた者については、1年間の活動につき臨床研修 60 時間の履修に相当させることができる。
- ⑮ 一般社団法人 日本健康・栄養システム学会の研究会、総会、分科会、地方会に終日参加した者については、認定講座 3 時間、口頭発表した者については認定講座 3 時間の履修に相当させることができる。
- ⑯ 査読のある学会誌に自著等が掲載された者については、原著の筆頭は 20 時間、原著の筆頭以外は5 時間、総説の筆頭は 30 時間、総説の筆頭以外は 8 時間、研究報告の筆頭は 10 時間、研究報告の筆頭以外は 5 時間を、それぞれ認定講座もしくは臨床研修の履修時間の履修に相当させることができる。
- ⑰ 栄養学関係の修士課程修了者については、臨床栄養師研修大学院履修相当科目細則に規定する臨床栄養師研修委員会が、認めた科目と時間数について履修相当とし、大学院在学中に臨床研修 900 時間に相当する研修を実施した者については、当該時間の履修に相当させることができる
- ⑱ 臨床栄養師認定講座実施細則第 7 条に規定する認定講座受託団体により臨床栄養師認定講座に相当する研修として申請のあった研修については、臨床栄養師研修委員会が承認した認定講座の履修時間数の履修に相当させることができる。
- ⑲ 海外での正規の臨床栄養師等の資格を保有する研修生を含めて、履修相当の申請書(様式 第(履)ー01号)を提出した者については、臨床栄養師研修委員会が承認した認定講座の履修時間数の履修に相当させることができる。
- ⑳ 前記①から⑲に規定された事項以外の履修相当時間については、臨床栄養師研修委員会が判断するものとする。

臨床研修施設の決定について

臨床研修を実施する施設の決定は、研修生の希望と臨床研修施設の意向を踏まえて調整する。臨床研修希望者の研修施設選定を支援するために、臨床研修受託施設の概要、連絡先、募集人数、研修プログラム、募集条件などの情報をホーム・ページ上に公開している。また研修生の研修施設の決定を公平かつ適正に実施するためのマッチングを実施する。

*マッチングシステムとは、研修生の研修施設の選択、決定を公平かつ適正に実施することである。

(臨床栄養師臨床研修実施細則参照)

次のとおり臨床栄養師マッチング支援事業を実施する。

- ① 臨床研修希望者は、臨床研修施設希望順位票を学会に提出する。
- ② 臨床研修希望者は、研修希望施設が定める選考手続きを受ける。
- ③ 臨床研修施設は、臨床研修採用希望順位票を学会に提出する。
- ④ 学会(臨床栄養師研修委員会)は、臨床研修希望者と臨床研修受託申請施設の研修プログラムの審査(マッチング)を実施し、臨床研修希望者および臨床研修受託申請施設に決定事項を通知する。

注：研修施設の選考に必要な各自の履歴書は各施設に送らず、願書提出時に事務局に提出する。

認定試験について

認定試験は、年1回実施される。認定研修の認定講座と臨床研修後に受験する。認定研修修了後3年間経過後も未受験あるいは、不合格の場合は、認定研修を再受講することになる。

認定試験免除について

臨床栄養師研修委員会が次の号のいずれかに該当し、臨床栄養師資格認定者と同等以上の能力があると判断した場合には、試験を免除することができる。

- (1) 臨床栄養師研修および継続研修等の講師やその経験者
- (2) 役員会、総会、分科会、地方会、委員会等の活躍や貢献の認められる者
- (3) 臨床栄養師研修受託施設の申請を行った監督責任者

認定論文について

学会が実施する臨床栄養師認定論文の提出資格は、臨床栄養師認定試験細則第4条に規定する事項に加えて、医療・福祉施設等（臨床研修受託施設に限らない）における、実務経験を1年以上有していることとする。

認定論文は、認定試験合格後に臨床栄養師研修委員会が指定したものによる事前指導を受けて提出し、臨床栄養師認定審査会で審査される。論文の内容は、勤務形態は問わないが実務経験に基づくものとなる。認定試験合格後1年経過後も未提出あるいは、不合格の場合には、認定試験を再受験する。

（認定論文審査に必要な書類についてはホームページ上の細則参照のこと）

資格認定・登録

臨床栄養師資格合格後、登録の手続きを実施する。臨床栄養師登録票と臨床栄養師章が付与される。

継続研修について

臨床栄養師資格認定・登録後も能力維持のために認定の翌年度より3年後の3月31日の3年間に100単位以上の継続研修が必要となる。そのうち30時間は学会主催の研修会・講演会・学術集会、地方会等の臨床栄養師研修委員会が指定したものから履修しなくてはならない。3年ごとに登録更新する。

【臨床栄養師研修 基礎・応用コース】

臨床栄養師研修を段階的に進めたい管理栄養士のためのコースです。

基礎コースは、医療・福祉において臨床業務経験1年未満の管理栄養士のレベルを対象とし、臨床栄養、アセスメントや栄養ケアの手順、チームの役割、栄養ケア・マネジメント、介護予防 栄養改善などの栄養相談の基本となる知識、技術の向上を目的とした30時間の講座と70時間の臨床研修です。修了証が授与され、次は応用コースをめざします。

応用コースは、基礎を修了した管理栄養士のレベルを対象とし、摂食・嚥下障害、認知症、エンド・オブ・ライフ等の臨床栄養、アセスメントや栄養ケアの手順、チームの取り組み、利用者・家族教育などの知識・技術、実践能力の向上を目的とした30時間の講座と70時間の臨床研修です。修了証が授与され、次は臨床栄養師資格取得をめざします。

臨床栄養師研修申し込みと同様の申請書類が必要です。詳しくは後述の『**認定講座・臨床研修 願書提出について（臨床栄養師研修・基礎・応用コース）**』をご参照ください。

※臨床研修は、受託研修施設において認定講座開始後随時実施。

基礎:平成23年6月8日(水)・6月10日(金)(波止場会館、男女共同参画センター 横浜市)
8月5日(金)～7日(日)(東京または神奈川)

応用:平成23年6月8日(水)・6月11日(土)(波止場会館、男女共同参画センター 横浜市)
8月3日(水)～8月6日(土)(東京または神奈川)

上記は必修科目の日程ですが、臨床栄養師研修選択科目の症例検討と発表を、基礎8時間、応用4時間、自由に選択して頂きます。参加人数によっては、日程が多少変更になることがあります。

【栄養サポートチーム研修】

診療報酬栄養サポートチーム加算の施設基準である専従者となる看護師、薬剤師、管理栄養士等を育成することを目的としており、臨床栄養師研修の一環に位置づけて行うものです。対象は看護師、薬剤師、管理栄養士等です。講義 30 時間と臨床研修 10 時間で研修修了証を授与いたします。

なお、管理栄養士の皆様は、栄養サポートチーム加算のための要件となる研修の修了書が授与されますと同時に、講義ならびに臨床研修時間は従来どおり臨床栄養師の認定要件としてお使いいただけます。

募集締め切りと方法：

平成 23 年 7 月 1 日（金）日 12:00 までにメールにて受け付けを行います。

研修希望者はメールを学会宛にご送信ください。メールには、栄養サポートチーム研修希望と必ず記載し、①氏名、②職種、③所属、④連絡先の〒番号、住所）電話、FAX、メール番号、⑤臨床研修希望病院を（別紙臨床研修施設一覧、ホームページにも掲載から）第 3 希望まで記載してください。先着 50 名様まで順次「栄養サポートチーム研修受付番号」のご返信を致します。返信がありましたら郵便局からお振込み頂き、当日はお振込み用紙(複写可)をご持参ください。お振込みが遅れる場合には、必ずメールでお申し出ください。教材、参加証は当日お渡しいたします。

メール送付先：sugiyama-m@kuhs.ac.jp

詳細はホームページ <http://www.j-ncm.com>

受講資格： 栄養サポートチームを担う予定のコメディカル

（管理栄養士、薬剤師、看護師で、学会会員・非会員を問いません）

日程：平成 23 年 8 月 3 日（火）～8 月 6 日（土）

場所：（東京あるいは神奈川、場所はわかる次第メールならびにホームページに掲載いたします）

開始時間、終了時間は栄養サポートチーム研修日程表を参照してください。

費用：（教材、実習を含む） 50,000 円（臨床栄養師研修生は認定講座費用に含む）

栄養サポートチーム研修科目以外の臨床栄養師研修科目を受講する場合には、1 時間 1,100 円が必要です。

欠席等された場合にも費用は返却できません。

振込先：郵便振込のみ 00190-9-408852

口座名義：一般社団法人 日本健康・栄養システム学会

お振込みの際には、通信欄に「NST 研修費」と記入願います。

I. 認定講座における栄養サポートチーム研修科目

番号	内 容	時間
1	倫理とチーム活動 通知対応項目：ル	2
3	科学的根拠に基づいた栄養ケア・マネジメント 通知対応項目：ロ、チ	2
5	栄養アセスメント・栄養ケア計画 通知対応項目：イ、ロ、ホ、ト、ヌ	7
6	特定保健用食品、保健機能食品・患者用食品 通知対応項目：ロ	4
7	経腸・静脈栄養法 通知対応項目：ハ～チ、ニ、ヌ	8
10	退院計画・指導 通知対応項目：ル、ヲ	4
11	在宅栄養ケア・マネジメント (介護予防を含む) 通知対応項目：ヲ	3
	計	30

上記の科目 30 時間の受講、および、栄養アセスメント・栄養ケア計画、経腸・静脈栄養、栄養教育を中心とした臨床研修 10 時間を受けて頂きます。これらの研修を修了したコメディカルには、研修修了証を授与いたします。なお、臨床研修施設、時期については、後日ご相談のうえ決定させていただきます。

II. 認定講座番号との対応表

通知項目（イ）～（ヲ）	認定講座対応番号（上記表の番号）
（イ）栄養障害例の抽出・早期対応（スクリーニング法）	5,
（ロ）栄養薬剤・栄養剤・食品の選択・適正使用法の指導	3, 5, 6,
（ハ）経静脈栄養剤の側管投与方法・薬剤配合変化の指摘	7
（ニ）経静脈輸液適正調剤法の取得	7
（ホ）経静脈栄養のプランニング・モニタリング	5, 7
（ヘ）経腸栄養剤の衛生管理・適正調剤法の指導	7
（ト）経腸栄養・経口栄養のプランニングとモニタリング	5, 7
（チ）簡易懸濁法の実施と有用性の理解	7
（リ）栄養療法に関する合併症の予防・発症時の対応	7,
（ヌ）栄養療法に関する問題点・リスクの抽出	5, 7,
（ル）栄養管理についての患者・家族への説明・指導	10
（ヲ）在宅栄養・院外施設での栄養管理法の指導	10, 11

《問い合わせ先》

〒238-8522 神奈川県横須賀市平成町 1-10-1

神奈川県立保健福祉大学 栄養学科

一般社団法人 日本健康・栄養システム学会

臨床栄養師研修運営委員長 杉山みち子

TEL / FAX 046-828-2663

E-mail:ncm@j-ncm.com

※お問い合わせはメールにてお願いいたします。

【栄養ケアチーム研修】

医療・福祉における「食べること」を支援するための栄養ケア・マネジメントの質を確保し、向上するために栄養ケアに関わるチームの一員として支援・協働能力を学習することを目的として、臨床栄養師研修の一環に位置づけて行います。対象は、医師、歯科医師、看護師、保健師、薬剤師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、社会福祉士、歯科衛生士、介護支援専門員、介護職、栄養士、調理師、地域包括支援センター職員等です。講義 30 時間と臨床研修 10 時間で修了証が授与されます。

募集締め切りと方法：

平成 23 年 7 月 1 日（金）日 12:00 までにメールにて受け付けを行います。

研修希望者はメールを学会宛にご送信ください。メールには、栄養サポートチーム研修希望と必ず記載し、①氏名、②職種、③所属、④連絡先の〒番号、住所）電話、FAX、メール番号、⑤臨床研修希望施設を（別紙臨床研修施設一覧、ホームページにも掲載から）第 3 希望まで記載してください。先着 50 名様まで順次「栄養サポートチーム研修受付番号」のご返信を致します。返信がありましたら郵便局からお振込み頂き、当日はお振込み用紙(複写可)をご持参ください。お振込みが遅れる場合には、必ずメールでお申し出ください。教材、参加証は当日お渡しいたします。

メール送付先：tamaru-yu@kuhs.ac.jp

詳細はホームページ <http://www.j-ncm.com>

受講資格： 学会会員・非会員を問いません

日程：平成 23 年 8 月 4 日（木）～8 月 7 日（日）（東京あるいは神奈川、場所はわかる次第メー

場所：ルならびにホームページに掲載いたします)

開始時間、終了時間は栄養サポートチーム研修日程表を参照してください。

費用（教材、実習を含む） 50,000 円（臨床栄養師研修生は認定講座費用に含む）
栄養ケアチーム研修科目以外の臨床栄養師研修科目を受講する場合には、1 時間 1,100 円が必要です。
欠席等された場合にも費用は返却できません。

振込先：郵便振込のみ 00190-9-408852

口座名義:一般社団法人 日本健康・栄養システム学会

お振込みの際には、通信欄に「NST 研修費」と記入願います。

I. 認定講座における栄養ケアチーム研修科目

番号	科 目	時間	備 考
1	倫理とチーム活動	2	
5	栄養アセスメントと栄養ケア計画（経口移行・維持、経口摂取等重視）	5	
6	特定保健用食品、保健機能食品・病者用食品の検討	2	
8	栄養教育(低栄養状態)	3	
9	症例検討と発表（経口移行・維持、経口摂取等の症例十例）	7	選択
11	在宅栄養ケア・マネジメント	3	
18 (7)	特別講義（臨床栄養）（うち6時間は経腸・静脈栄養法）	8	
計		30	

上記表中の赤印の科目 30 時間の受講、および、栄養・食べることの支援に関するアセスメント、計画、カンファレンス（担当者会議）相談を中心とした臨床研修 10 時間を受けて頂きます。これらの研修を修了したコメディカルには、研修修了証を授与いたします。なお、臨床研修施設、時期については、後日ご相談のうえ決定させていただきます。

《問い合わせ先》

〒238-8522 神奈川県横須賀市平成町 1-10-1

神奈川県立保健福祉大学 栄養学科

一般社団法人 日本健康・栄養システム学会

臨床栄養師研修運営委員長 杉山みち子

TEL /FAX 046-828-2663

E-mail:ncm@j-ncm.com

※お問い合わせはメールにてお願いいたします。

別表1a 講座科目と各種研修修了必要科目別時間及び臨床栄養師認定講座相当科目別時間一覧(案)

科目	時間	必修時間						臨床栄養師認定講座履修相当時間											
		臨床栄養師 資格認定 必修科目	臨床栄養師 研修基礎・応 用修了 必修科目		栄養ケア チーム研 修修了 必修科 目	栄養サ ポート チーム研 修修了 必修科 目	第20回 管理栄養 士 国家試験 合格者相 当	臨床研 修受託 施設勤 務者 (3年以 上) 相当	臨床栄養師 研修基礎・応用研 修修了者		栄養サ ポート チーム 研修修 了者	栄養サ ポート 専門療法 士 有資格者	病態栄養 療法 専門師 日本糖尿 病療養 指導士 有資格者	TNT-D	慢性期 医療 認定講 座	全国老 人福祉 施設協 議会栄 養ケア・ マネジ メント研 修	神奈川県立 保健福祉大学 実践教育センター 栄養ケア・マネジ メント 研修修了者		
			基礎	応用					基礎	応用									
倫理とチーム活動			2	2		2	2		2	2		2	2	2	2			2	
栄養ケア・マネジメントと情報管理			2						2							2		2	
科学的根拠に基づいた 栄養ケア・マネジメント活動			2		2				2		2	2	2	2				2	
栄養ケア・マネジメントの運営一計画、 評価、品質改善活動	基礎	2	4	2					4	2								4	
	応用	2		2						2									
栄養アセスメント・栄養ケア計画 (経口移行・維持、経口摂取等重視)	基礎	3	7	3		3		3	7	3								7	
	応用	4		4	2	7	4				4	7	7	3	3				
特定保健用食品・保健機能食品・病者 用食品の検討	基礎	2	4	2		2		4	4	2								4	
	応用	2		2		4	4	2			4	4	2	2					
経腸・静脈栄養法	基礎	4	8	4				8	2	4								8	
	応用	4		4		8	4				8	8							
栄養教育(生活習慣病)			6					2	6							6		6	
栄養教育(低栄養状態)	基礎	3	6	3		3			6	3							3	6	
	応用	3		3			3												
栄養教育(栄養教育理論)	基礎	2	4	2				2	2	2								4	
	応用	2													2				
症例検討と発表(経口移行・維持、 経口摂取等の症例重視)			20	8	4	7		1	14	8	4				8	20	8	5	20
退院(所)計画・指導			4		4				4		4	4	4						4
在宅栄養ケア・マネジメント			3		3	3			1		3	3	3			3			3
集団の栄養評価と計画			6					2	4								6		6
地域栄養活動(自治体やボランティア活 動団体との連携を含む)			2		2						2								2
制度と臨床栄養活動			4	2					4	2					2		2		4
給食経営管理	基礎	2	4	2					4	2									4
	応用	2																	
経営の基礎			8						6										8
人材教育と自己研鑽、生涯学習			2																2
特別講義(臨床栄養)			2			8													2
合計			100	30	30	30	30	16	80	30	30	30	30	30	40	40	8		100

平成23年度 認定講座講師一覧

<アイウエオ順・敬称略>

講師名	所属・職名	講座名
1 上島 順子	海老名総合病院 栄養科 管理栄養士	症例検討と発表(脂質代謝異常)
2 宇田 淳	広島国際大学 医療福祉学部 医療経営学科	栄養ケア・マネジメントと情報管理
3 麻植 有希子	医療法人社団 横浜育明会 介護老人保健施設都筑シニアセンター	給食経営管理
4 榎 裕美	愛知淑徳大学 健康医療科学部	科学的根拠の基づいた 栄養ケア・マネジメント活動
5 大谷 幸子	東京大学医学部付属病院 栄養管理室	栄養教育(生活習慣病)
6 梶井 文子	聖路加看護大学 教授	症例検討と発表(終末期)
7 加藤 昌彦	椙山女学園大学 生活科学部 管理栄養学科 教授	経腸・静脈栄養 (経腸栄養)
8 蒲池 桂子	女子栄養大学 栄養クリニック 准教授	栄養教育(生活習慣病)
9 桐谷 祐美子	(医社)輝生会 初台リハビリテーション病院 診療部 栄養科	症例検討と発表 (病院基礎)
10 合田 敏尚	静岡県立大学大学院 食品栄養科学部 教授	特定保健用食品、保健機能食品、 病者用食品の検討
11 古賀 奈保子	医療法人社団 いばらき会 いばらき診療所	在宅栄養ケア・マネジメント (高齢者住宅)
12 小林 明子	会津総合病院 診療部臨床栄養室 主任栄養技師	症例検討と発表(糖尿病)
13 小山 秀夫	兵庫県立大学大学院 経営研究科 医療マネジメント専攻 教授	経営の基礎
14 近藤 和雄	お茶の水女子大学大学院 教授	栄養教育(栄養教育の基礎)
15 下門 顕太郎	東京医科歯科大学 血流制御内科 教授	症例検討と発表
16 清水 幸子	医療法人社団 三喜会 鶴巻温泉病院 栄養科 科長	給食経営管理
17 杉森 裕樹	大東文化大学 スポーツ・健康学部 健康科学科 教授	集団の栄養評価と計画
18 杉山 みち子	神奈川県立保健福祉大学 教授	栄養教育(低栄養状態) 栄養ケア・マネジメントの運営
19 高崎 美幸	医療法人社団 松圓会 東葛クリニック病院 栄養部臨床栄養課 課長代理	退所(退院)計画・指導
20 田中 明	女子栄養大学 教授	倫理とチーム活動
21 田中 和美	特別養護老人ホーム ふれあいの森 栄養サービス課長	栄養アセスメント・栄養ケア計画 (福祉基礎)
22 堤 ちはる	日本こども家庭総合研究所 母子保健研究部栄養担当部長	栄養教育(栄養教育の基礎)
23 中山 徹	関東学院大学 人間環境学部 健康栄養学科 教授	症例検討と発表
24 西村 智子	社会医療法人若弘会 わかくさ竜間リハビリテーション病院 管理部 栄養課	栄養教育(低栄養状態)
25 西連地 利己	獨協医科大学 公衆衛生学講座 准教授	集団の栄養評価と計画
26 野地 有子	千葉大学大学院 看護学研究科 教授	地域栄養活動
27 野本 尚子	千葉大学医学部付属病院 栄養管理室	症例検討と発表(高齢者消化器)
28 早坂 朋恵	東北厚生年金病院 栄養課 係長	症例検討と発表 (神経内科EN)
29 藤原 優子	(医社)輝生会 初台リハビリテーション病院 診療部 栄養科	症例検討と発表 (輸液から経腸経口移行)
30 三原 法子	山形大学 地域教育文化学部 生活総合学科 食環境デザインコース 専任講師	栄養アセスメント・栄養ケア計画 (水電解質と輸液)
31 山東 勤弥	大阪樟蔭女子大学大学院 人間科学研究科 人間栄養学専攻 教授	経腸・静脈栄養法(静脈栄養法) 栄養
32 渡辺 美鈴	財団法人 脳血管研究所 美原記念病院 栄養科長	栄養アセスメント・栄養ケア計画 (PES基礎) 症例検討と発表(脳血管)

平成23年度 認定講座日程表(23年6月)

時限	時間	科目名(担当者名)					
		H23. 6/7(火)	6/8(水)	6/9(木)	6/10(金)	6/11(土)	6/12(日)
会場		6/7～6/10波止場会館(神奈川県横浜市)			6/11～6/12男女参画センター横浜南(神奈川県横浜市)		
1	9:30-10:30	臨 経営の基礎 (小山秀夫・8時間)	★選択 症例検討と発表 (渡邊美鈴・2時間) 脳血管	臨 栄養教育(生活習慣病) (浦池桂子・2時間)	臨/基礎 栄養教育(栄養教育の基礎) (堤ちはる・2時間)	臨/応用 栄養教育(低栄養状態) 【応用】 (西村智子・3時間)	臨 集団の栄養評価と計画 (西連地利巳・4時間)
2	10:40-11:40		臨/基礎 栄養ケア・マネジメントの運営 -計画、評価、品質改善活動 【基礎】 (杉山みち子・2時間)	臨 栄養教育(生活習慣病) (大谷幸子・4時間)	★選択 症例検討と発表 (早坂朋恵・2時間) 神経内科EN		
3	11:50-12:50					臨/基礎 給食経営管理 【基礎】 (麻植有希子・2時間)	
4	13:30-14:30		臨 給食経営管理 【応用】 (清水幸子・2時間)	臨 栄養教育(栄養教育の基礎) (近藤和雄・2時間)	臨 集団の栄養評価と計画 (杉森裕樹・2時間)		
5	14:40-15:40					臨 給食経営管理 【応用】 (清水幸子・2時間)	臨 栄養教育(栄養教育の基礎) (近藤和雄・2時間)
6	15:50-16:50		臨 給食経営管理 【応用】 (清水幸子・2時間)	臨 栄養教育(栄養教育の基礎) (近藤和雄・2時間)	臨 集団の栄養評価と計画 (杉森裕樹・2時間)		
7	17:00-18:00					臨 給食経営管理 【応用】 (清水幸子・2時間)	臨 栄養教育(栄養教育の基礎) (近藤和雄・2時間)
8	18:10-19:10		臨 給食経営管理 【応用】 (清水幸子・2時間)	臨 栄養教育(栄養教育の基礎) (近藤和雄・2時間)	臨 集団の栄養評価と計画 (杉森裕樹・2時間)		

★選択科目「症例検討と発表」について★

- ・ 6月と8月を合わせて全20時間あります。
- ・ 臨床栄養師研修(基礎)受講者は8時間、臨床栄養士研修(応用)受講者は4時間、栄養ケアチーム研修受講者は7時間、になるように選択して受講してください。
- ・ 臨床栄養師資格取得希望者は20時間全て受講してください。

平成23年度 認定講座日程表(23年8月)

時限	時間	科目名(担当者名)					
		H23. 8/2(火)	8/3(水)	8/4(木)	8/5(金)	8/6(土)	8/7(日)
1	9:30-10:30	★選択 症例検討と発表 (上島順子・2時間) 脂質代謝異常	臨/応用/NST 科学的根拠に基づいた栄養ケ ア・マネジメント活動 (榎裕美・2時間)	臨/応用/栄養ケア/NST 栄養アセスメント・ 栄養ケア計画 (田中和美・2時間) 福祉基礎	臨/基礎/栄養ケア/NST 栄養アセスメント・ 栄養ケア計画* (渡邊美鈴・2時間) PES基礎	☆ 臨/基礎/NST/栄養ケア 経腸・静脈栄養(経腸栄養) 【基礎】 (加藤昌彦・4時間)	臨/基礎/栄養ケア 栄養教育(低栄養) 【基礎】 (杉山みち子・3時間)
2	10:40-11:40						
3	11:50-12:50	★選択 症例検討と発表 (小林明子・2時間) 糖尿病	臨/応用/NST 退院(所)計画・指導 (高崎美幸・4時間)	臨/応用/栄養ケア/NST 在宅栄養ケア・マネジメント (古賀奈保子・3時間) 高齢者在宅	臨/基礎/NST 栄養アセスメント・栄養ケア計画 (三原法子・1時間) 水電解質と輸液	☆ 臨/基礎/NST/栄養ケア 経腸・静脈栄養(経腸栄養) 【基礎】 (加藤昌彦・4時間)	☆ 臨/栄養ケア 臨床栄養特別講義 (2時間)
4	13:30-14:30				臨/応用/NST 栄養アセスメント・栄養ケア計画 (三原法子・1時間) 水電解質と輸液		
5	14:40-15:40	★選択 症例検討と発表 (桐谷裕美子・2時間) 病院基礎	臨/応用/NST 退院(所)計画・指導 (高崎美幸・4時間)	臨/応用/栄養ケア/NST 在宅栄養ケア・マネジメント (古賀奈保子・3時間) 高齢者在宅	臨/基礎/NST/栄養ケア 特定保健用食品、保健機能食 品、病者用食品の検討 (合田敏尚・2時間)	☆ 臨/応用/NST/栄養ケ ア 経腸・静脈栄養(経腸栄養) 【応用】 (加藤昌彦・2時間)	★選択 症例検討と発表 (野本尚子・2時間) 高齢者消化器
6	15:50-16:50				臨/応用/栄養ケア/NST 栄養アセスメント・栄養ケア計画 (山東勤弥・1時間)		
7	17:00-18:00	★選択 症例検討と発表 (藤原優子・2時間) 輸液から経腸経口移行	臨/応用 栄養ケア・マネジメントの運営 計画、評価、品質改善活動 【応用】 (杉山みち子・2時間)	臨/応用/NST 経腸・静脈栄養法(静脈栄養) 【応用】 (山東勤弥・2時間)	臨/応用/NST 特定保健用食品、保健機能食 品、病者用食品の検討 (合田敏尚・2時間)	臨/基礎/栄養ケア/NST 倫理とチーム活動 (田中 明 2時間)	
8	18:10-19:10						

★選択科目「症例検討と発表」について★
 ・6月と8月を合わせて全20時間あります。
 ・臨床栄養師研修(基礎)受講者は8時間、臨床栄養士研修(応用)受講者は4時間、栄養ケアチーム研修受講者は7時間、になるように選択して受講してください。

☆臨床栄養特別講義(加藤昌彦先生・8時間)について☆
 ・臨床栄養師資格取得希望者および栄養ケアチーム研修受講者の必修科目です。
 ・8/6(土)9:30-16:50「経腸・静脈栄養(経腸栄養)【基礎・応用】」と17:00-19:10「臨床栄養特別講義」を受講していただくことで、臨床栄養特別講義(8時間)も受講したとみなします。

《基礎コース》平成23年度 認定講座日程表(23年6月)

時限	時間	科目名(担当者名)					
		H23. 6/7(火)	6/8(水)	6/9(木)	6/10(金)	6/11(土)	6/12(日)
会場		6/7～6/10波止場会館(神奈川県横浜市)			6/11～6/12男女参画センター横浜南(神奈川県横浜市)		
1	9:30-10:30	臨 経営の基礎 (小山秀夫・8時間)	★選択 症例検討と発表 (渡邊美鈴・2時間) 脳血管	臨 栄養教育(生活習慣病) (蒲池桂子・2時間)	臨/基礎 栄養教育(栄養教育の基礎) (堤ちはる・2時間)	臨/応用 栄養教育(低栄養状態) 【応用】 (西村智子・3時間)	臨 集団の栄養評価と計画 (西連地利巳・4時間)
2	10:40-11:40		臨/基礎 栄養ケア・マネジメントの運営 -計画、評価、品質改善活動 【基礎】 (杉山みち子・2時間)	臨 栄養教育(生活習慣病) (大谷幸子・4時間)	★選択 症例検討と発表 (早坂朋恵・2時間) 神経内科EN		
3	11:50-12:50		臨/基礎 給食経営管理 【基礎】 (麻植有希子・2時間)		臨 栄養ケア・マネジメントと情報 管理 (宇田淳・2時間)	臨/応用 地域栄養活動(自治体やボラ ンティア活動団体との連携を 含む)(野地有子・2時間)	
4	13:30-14:30		臨 給食経営管理 【応用】 (清水幸子・2時間)	臨 栄養教育(栄養教育の基礎) (近藤和雄・2時間)	臨 集団の栄養評価と計画 (杉森裕樹・2時間)		
5	14:40-15:40						
6	15:50-16:50						
7	17:00-18:00						
8	18:10-19:10						

★選択科目「症例検討と発表」について★

- ・ 6月と8月を合わせて全20時間あります。
- ・ 臨床栄養師研修(基礎)受講者は8時間、臨床栄養士研修(応用)受講者は4時間、栄養ケアチーム研修受講者は7時間、になるように選択して受講してください。
- ・ 臨床栄養師資格取得希望者は20時間全て受講してください。

《基礎コース》平成23年度 認定講座日程表(23年8月)

時限	時間	科目名(担当者名)					
		H23. 8/2(火)	8/3(水)	8/4(木)	8/5(金)	8/6(土)	8/7(日)
1	9:30-10:30	★選択 症例検討と発表 (上島順子・2時間) 脂質代謝異常	臨/応用/NST 科学的根拠に基づいた栄養ケ ア・マネジメント活動 (榎裕美・2時間)	臨/応用/栄養ケア/NST 栄養アセスメント・ 栄養ケア計画 (田中和美・2時間) 福祉基礎	臨/基礎/栄養ケア/NST 栄養アセスメント・ 栄養ケア計画* (渡邊美鈴・2時間) PES基礎	☆ 臨/基礎/NST/栄養ケア 経腸・静脈栄養(経腸栄養) 【基礎】 (加藤昌彦・4時間)	臨/基礎/栄養ケア 栄養教育(低栄養) 【基礎】 (杉山みち子・3時間)
2	10:40-11:40						
3	11:50-12:50	★選択 症例検討と発表 (小林明子・2時間) 糖尿病	臨/応用/NST 退院(所)計画・指導 (高崎美幸・4時間)	臨/応用/栄養ケア/NST 在宅栄養ケア・マネジメント (古賀奈保子・3時間) 高齢者在宅	臨/基礎/NST 栄養アセスメント・栄養ケア計画 (三原法子・1時間) 水電解質と輸液	☆ 臨/基礎/NST/栄養ケア 経腸・静脈栄養(経腸栄養) 【基礎】 (加藤昌彦・4時間)	☆ 臨/栄養ケア 臨床栄養特別講義 (2時間)
4	13:30-14:30				臨/応用/NST 栄養アセスメント・栄養ケア計画 (三原法子・1時間) 水電解質と輸液		
5	14:40-15:40	★選択 症例検討と発表 (桐谷裕美子・2時間) 病院基礎	臨/応用/NST 退院(所)計画・指導 (高崎美幸・4時間)	臨/応用/栄養ケア/NST 在宅栄養ケア・マネジメント (古賀奈保子・3時間) 高齢者在宅	臨/基礎/NST/栄養ケア 特定保健用食品、保健機能食 品、病者用食品の検討 (合田敏尚・2時間)	☆ 臨/応用/NST/栄養ケ ア 経腸・静脈栄養(経腸栄養) 【応用】 (加藤昌彦・2時間)	★選択 症例検討と発表 (野本尚子・2時間) 高齢者消化器
6	15:50-16:50				臨/応用/栄養ケア/NST 栄養アセスメント・栄養ケア計画 (山東勤弥・1時間)		
7	17:00-18:00	★選択 症例検討と発表 (藤原優子・2時間) 輸液から経腸経口移行	臨/応用 栄養ケア・マネジメントの運営 -計画、評価、品質改善活動 【応用】 (杉山みち子・2時間)	臨/応用/NST 経腸・静脈栄養法(静脈栄養) 【応用】 (山東勤弥・2時間)	臨/応用/NST 特定保健用食品、保健機能食 品、病者用食品の検討 (合田敏尚・2時間)	臨/基礎/栄養ケア/NST 倫理とチーム活動 (田中 明 2時間)	
8	18:10-19:10						

★選択科目「症例検討と発表」について★
 ・ 6月と8月を合わせて全20時間あります。
 ・ 臨床栄養師研修(基礎)受講者は8時間、臨床栄養士研修(応用)受講者は4時間、栄養ケアチーム研修受講者は7時間、になるように選択して受講してください。

☆臨床栄養特別講義(加藤昌彦先生・8時間)について☆
 ・ 臨床栄養師資格取得希望者および栄養ケアチーム研修受講者の必修科目です。
 ・ 8/6(土)9:30-16:50「経腸・静脈栄養(経腸栄養)【基礎・応用】」と17:00-19:10「臨床栄養特別講義」を受講していただくことで、臨床栄養特別講義(8時間)も受講したとみなします。

《応用コース》平成23年度 認定講座日程表(23年6月)

時限	時間	科目名(担当者名)						
		H23. 6/7(火)	6/8(水)	6/9(木)	6/10(金)	6/11(土)	6/12(日)	
会場		6/7～6/10波止場会館(神奈川県横浜市)			6/11～6/12男女参画センター横浜南(神奈川県横浜市)			
1	9:30-10:30	臨 経営の基礎 (小山秀夫・8時間)	★選択 症例検討と発表 (渡邊美鈴・2時間) 脳血管	臨 栄養教育(生活習慣病) (浦池桂子・2時間)	臨/基礎 栄養教育(栄養教育の基礎) (堤ちはる・2時間)	臨/応用 栄養教育(低栄養状態) 【応用】 (西村智子・3時間)	臨 集団の栄養評価と計画 (西連地利巳・4時間)	
2	10:40-11:40		臨/基礎 栄養ケア・マネジメントの運営 -計画、評価、品質改善活動 【基礎】 (杉山みち子・2時間)	★選択 症例検討と発表 (早坂朋恵・2時間) 神経内科EN	★選択 症例検討と発表 (中山徹・2時間)			
3	11:50-12:50		臨/基礎 給食経営管理 【基礎】 (麻植有希子・2時間)			臨 栄養ケア・マネジメントと情報 管理 (宇田淳・2時間)		臨/応用 地域栄養活動(自治体やボラ ンティア活動団体との連携を 含む)(野地有子・2時間)
4	13:30-14:30		臨 給食経営管理 【応用】 (清水幸子・2時間)	臨 栄養教育(栄養教育の基礎) (近藤和雄・2時間)	臨 集団の栄養評価と計画 (杉森裕樹・2時間)	★選択 症例検討と発表 (下門顕太郎・2時間)		
5	14:40-15:40		★選択 症例検討と発表 (梶井文子・2時間) 終末期					
6	15:50-16:50							
7	17:00-18:00							
8	18:10-19:10							

★選択科目「症例検討と発表」について★

- ・ 6月と8月を合わせて全20時間あります。
- ・ 臨床栄養師研修(基礎)受講者は8時間、臨床栄養士研修(応用)受講者は4時間、栄養ケアチーム研修受講者は7時間、になるように選択して受講してください。
- ・ 臨床栄養師資格取得希望者は20時間全て受講してください。

《応用コース》平成23年度 認定講座日程表(23年8月)

時限	時間	科目名(担当者名)					
		H23. 8/2(火)	8/3(水)	8/4(木)	8/5(金)	8/6(土)	8/7(日)
1	9:30-10:30	★選択 症例検討と発表 (上島順子・2時間) 脂質代謝異常	臨/応用/NST 科学的根拠に基づいた栄養ケ ア・マネジメント活動 (榎裕美・2時間)	臨/応用/栄養ケア/NST 栄養アセスメント・ 栄養ケア計画 (田中和美・2時間) 福祉基礎	臨/基礎/栄養ケア/NST 栄養アセスメント・ 栄養ケア計画* (渡邊美鈴・2時間) PES基礎	☆ 臨/基礎/NST/栄養ケア 経腸・静脈栄養(経腸栄養) 【基礎】 (加藤昌彦・4時間)	臨/基礎/栄養ケア 栄養教育(低栄養) 【基礎】 (杉山みち子・3時間)
2	10:40-11:40						
3	11:50-12:50	★選択 症例検討と発表 (小林明子・2時間) 糖尿病	臨/応用/NST 退院(所)計画・指導 (高崎美幸・4時間)	臨/応用/栄養ケア/NST 在宅栄養ケア・マネジメント (古賀奈保子・3時間) 高齢者在宅	臨/基礎/NST 栄養アセスメント・栄養ケア計画 (三原法子・1時間) 水電解質と輸液	☆ 臨/基礎/NST/栄養ケア 経腸・静脈栄養(経腸栄養) 【基礎】 (加藤昌彦・4時間)	☆ 臨/栄養ケア 臨床栄養特別講義 (2時間)
4	13:30-14:30				臨/応用/NST 栄養アセスメント・栄養ケア計画 (三原法子・1時間) 水電解質と輸液		
5	14:40-15:40	★選択 症例検討と発表 (桐谷裕美子・2時間) 病院基礎	臨/応用/NST 退院(所)計画・指導 (高崎美幸・4時間)	臨/応用/栄養ケア/NST 在宅栄養ケア・マネジメント (古賀奈保子・3時間) 高齢者在宅	臨/基礎/NST/栄養ケア 特定保健用食品、保健機能食 品、病者用食品の検討 (合田敏尚・2時間)	☆ 臨/応用/NST/栄養ケ ア 経腸・静脈栄養(経腸栄養) 【応用】 (加藤昌彦・2時間)	★選択 症例検討と発表 (野本尚子・2時間) 高齢者消化器
6	15:50-16:50				臨/応用/栄養ケア/NST 栄養アセスメント・栄養ケア計画 (山東勲弥・1時間)		
7	17:00-18:00	★選択 症例検討と発表 (藤原優子・2時間) 輸液から経腸経口移行	臨/応用 栄養ケア・マネジメントの運営 -計画、評価、品質改善活動 【応用】 (杉山みち子・2時間)	臨/応用/NST 経腸・静脈栄養法(静脈栄養) 【応用】 (山東勲弥・2時間)	臨/応用/NST 特定保健用食品、保健機能食 品、病者用食品の検討 (合田敏尚・2時間)	臨/基礎/栄養ケア/NST 倫理とチーム活動 (田中 明 2時間)	
8	18:10-19:10						
★選択科目「症例検討と発表」について★ ・ 6月と8月を合わせて全20時間あります。 ・ 臨床栄養師研修(基礎)受講者は8時間、臨床栄養士研修(応用)受講者は4時間、栄養ケアチーム研修受講者は7時間、になるように選択して受講してください。				☆臨床栄養特別講義(加藤昌彦先生・8時間)について☆ ・ 臨床栄養師資格取得希望者および栄養ケアチーム研修受講者の必修科目です。 ・ 8/6(土)9:30-16:50「経腸・静脈栄養(経腸栄養)【基礎・応用】」と17:00-19:10「臨床栄養特別講義」を受講していただくことで、臨床栄養特別講義(8時間)も受講したとみなします。			

《栄養サポートチーム研修》平成23年度 認定講座日程表(23年8月) ※6月は、NSTクラス必修の授業はありません

時限	時間	科目名(担当者名)					
		H23. 8/2(火)	8/3(水)	8/4(木)	8/5(金)	8/6(土)	8/7(日)
1	9:30-10:30	★選択 症例検討と発表 (上島順子・2時間) 脂質代謝異常	臨/応用/NST 科学的根拠に基づいた栄養ケ ア・マネジメント活動 (榎裕美・2時間)	臨/応用/栄養ケア/NST 栄養アセスメント・ 栄養ケア計画 (田中和美・2時間) 福祉基礎	臨/基礎/栄養ケア/NST 栄養アセスメント・ 栄養ケア計画* (渡邊美鈴・2時間) PES基礎	☆ 臨/基礎/NST/栄養ケア 経腸・静脈栄養(経腸栄養) 【基礎】 (加藤昌彦・4時間)	臨/基礎/栄養ケア 栄養教育(低栄養) 【基礎】 (杉山みち子・3時間)
2	10:40-11:40						
3	11:50-12:50	★選択 症例検討と発表 (小林明子・2時間) 糖尿病	臨/応用/NST 退院(所)計画・指導 (高崎美幸・4時間)	臨/応用/栄養ケア/NST 在宅栄養ケア・マネジメント (古賀奈保子・3時間) 高齢者在宅	臨/基礎/NST 栄養アセスメント・栄養ケア計画 (三原法子・1時間) 水電解質と輸液	☆ 臨/応用/NST/栄養ケ ア 経腸・静脈栄養(経腸栄養) 【応用】 (加藤昌彦・2時間)	☆ 臨/栄養ケア 臨床栄養特別講義 (2時間)
4	13:30-14:30				臨/応用/NST 栄養アセスメント・栄養ケア計画 (三原法子・1時間) 水電解質と輸液		
5	14:40-15:40	★選択 症例検討と発表 (桐谷裕美子・2時間) 病院基礎	臨/応用/栄養ケア/NST 栄養アセスメント・栄養ケア計画 (山東勤弥・1時間)	臨/基礎/NST/栄養ケア 特定保健用食品、保健機能食 品、病者用食品の検討 (合田敏尚・2時間)	☆ 臨/基礎/NST/栄養ケ ア/NST 倫理とチーム活動 (田中 明 2時間)	★選択 症例検討と発表 (野本尚子・2時間) 高齢者消化器	
6	15:50-16:50						
7	17:00-18:00	★選択 症例検討と発表 (藤原優子・2時間) 輸液から経腸経口移行	臨/応用 栄養ケア・マネジメントの運営 -計画、評価、品質改善活動 【応用】 (杉山みち子・2時間)	臨/応用/NST 経腸・静脈栄養法(静脈栄養) 【応用】 (山東勤弥・2時間)	臨/応用/NST 特定保健用食品、保健機能食 品、病者用食品の検討 (合田敏尚・2時間)	臨/基礎/栄養ケア/NST 倫理とチーム活動 (田中 明 2時間)	
8	18:10-19:10						
★選択科目「症例検討と発表」について★ ・ 6月と8月を合わせて全20時間あります。 ・ 臨床栄養師研修(基礎)受講者は8時間、臨床栄養士研修(応用)受講者は4時間、栄養ケアチーム研修受講者は7時間、になるように選択して受講してください。				☆臨床栄養特別講義(加藤昌彦先生・8時間)について☆ ・ 臨床栄養師資格取得希望者および栄養ケアチーム研修受講者の必修科目です。 ・ 8/6(土)9:30-16:50「経腸・静脈栄養(経腸栄養)【基礎・応用】」と17:00-19:10「臨床栄養特別講義」を受講していただくことで、臨床栄養特別講義(8時間)も受講したとみなします。			

《栄養ケアチーム研修》平成23年度 認定講座日程表(23年8月)※6月は、栄養ケアクラス必修の授業はありません

時限	時間	科目名(担当者名)					
		H23. 8/2(火)	8/3(水)	8/4(木)	8/5(金)	8/6(土)	8/7(日)
1	9:30-10:30	★選択 症例検討と発表 (上島順子・2時間) 脂質代謝異常	臨/応用/NST 科学的根拠に基づいた栄養ケ ア・マネジメント活動 (榎裕美・2時間)	臨/応用/栄養ケア/NST 栄養アセスメント・ 栄養ケア計画 (田中和美・2時間) 福祉基礎	臨/基礎/栄養ケア/NST 栄養アセスメント・ 栄養ケア計画* (渡邊美鈴・2時間) PES基礎	☆ 臨/基礎/NST/栄養ケア 経腸・静脈栄養(経腸栄養) 【基礎】 (加藤昌彦・4時間)	臨/基礎/栄養ケア 栄養教育(低栄養) 【基礎】 (杉山みち子・3時間)
2	10:40-11:40						
3	11:50-12:50	★選択 症例検討と発表 (小林明子・2時間) 糖尿病	臨/応用/NST 退院(所)計画・指導 (高崎美幸・4時間)	臨/応用/栄養ケア/NST 在宅栄養ケア・マネジメント (古賀奈保子・3時間) 高齢者在宅	臨/基礎/NST 栄養アセスメント・栄養ケア計画 (三原法子・1時間) 水電解質と輸液	☆ 臨/基礎/NST/栄養ケア 経腸・静脈栄養(経腸栄養) 【基礎】 (加藤昌彦・4時間)	☆ 臨/栄養ケア 臨床栄養特別講義 (2時間)
4	13:30-14:30				臨/応用/NST 栄養アセスメント・栄養ケア計画 (三原法子・1時間) 水電解質と輸液		
5	14:40-15:40	★選択 症例検討と発表 (桐谷裕美子・2時間) 病院基礎	臨/応用/NST 退院(所)計画・指導 (高崎美幸・4時間)	臨/応用/栄養ケア/NST 在宅栄養ケア・マネジメント (古賀奈保子・3時間) 高齢者在宅	臨/基礎/NST/栄養ケア 特定保健用食品、保健機能食 品、病者用食品の検討 (合田敏尚・2時間)	☆ 臨/応用/NST/栄養ケ ア 経腸・静脈栄養(経腸栄養) 【応用】 (加藤昌彦・2時間)	★選択 症例検討と発表 (野本尚子・2時間) 高齢者消化器
6	15:50-16:50				臨/応用/栄養ケア/NST 栄養アセスメント・栄養ケア計画 (山東勲弥・1時間)		
7	17:00-18:00	★選択 症例検討と発表 (藤原優子・2時間) 輸液から経腸経口移行	臨/応用 栄養ケア・マネジメントの運営 -計画、評価、品質改善活動 【応用】 (杉山みち子・2時間)	臨/応用/NST 経腸・静脈栄養法(静脈栄養) 【応用】 (山東勲弥・2時間)	臨/応用/NST 特定保健用食品、保健機能食 品、病者用食品の検討 (合田敏尚・2時間)	臨/基礎/栄養ケア/NST 倫理とチーム活動 (田中 明 2時間)	
8	18:10-19:10						
★選択科目「症例検討と発表」について★ ・ 6月と8月を合わせて全20時間あります。 ・ 臨床栄養師研修(基礎)受講者は8時間、臨床栄養士研修(応用)受講者は4時間、栄養ケアチーム研修受講者は7時間、になるように選択して受講してください。				☆臨床栄養特別講義(加藤昌彦先生・8時間)について☆ ・ 臨床栄養師資格取得希望者および栄養ケアチーム研修受講者の必修科目です。 ・ 8/6(土)9:30-16:50「経腸・静脈栄養(経腸栄養)【基礎・応用】」と17:00-19:10「臨床栄養特別講義」を受講していただくことで、臨床栄養特別講義(8時間)も受講したとみなします。			

研修会会場について(6月)

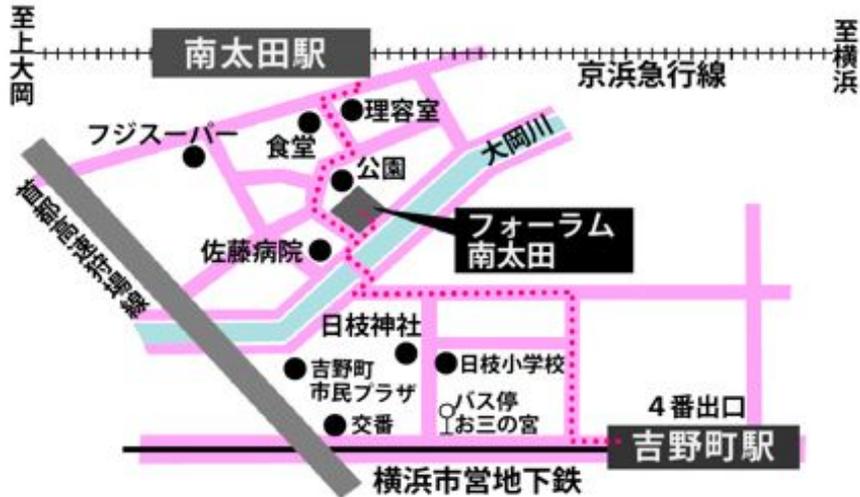
波止場会館

TEL (045)201-3842 FAX (045)201-3854



JR「関内」下車徒歩15分、みなと大通り直進。「横浜税関前」信号を渡って右折。
「開港広場前」信号そばのレストラン「スカンディア」の並びの裏にあります。
または、東横・みなとみらい線の「日本大通り」下車徒歩5分。2番出口前の「港郵便局前」信号を渡って、日本大通り直進。「開港資料館前」信号を渡って右折。「開港広場前」信号そばのレストラン「スカンディア」の並びの裏にあります。

男女共同参画センター(フォーラム太田)



〒232-0006 横浜市南区南太田 1-7-20 TEL 045-714-5911

○京浜急行線 南太田駅 下車 徒歩 3 分、横浜市営地下鉄ブルーライン 吉野町駅 下車 徒歩 7 分
「南太田駅」改札を出て右側の道路をわたり、床屋の角を左折してください。公園の奥に見えている赤レンガの建物がフォーラム南太田です。

○横浜市営地下鉄「吉野町駅」4 番出口を出て右に進むと、日枝小学校があります。日枝小学校の壁沿いに歩き、信号の手前を右折してください。左に日枝神社を見ながらつきあたりを左折。少し進むと前方に山王橋があります。橋をわたって右斜め前方です。

○ バスをご利用の方

お三の宮バス停下車。日枝小学校の角を曲がり、日枝神社の角を左折すると、前方に山王橋があります。橋をわたって右斜め前方です。

一般用の駐車場はありませんので、公共交通機関をご利用ください。

臨床栄養師研修カリキュラムにおける達成目標、実施、評価指針

NO	科目	集中講義(100時間)	インターン研修(900時間)		
		達成目標	達成目標	実施	評価
1	倫理とチーム活動	栄養ケア・マネジメントの実践活動のための倫理、チームに参画する専門職としての役割を理解し、説明できる。	栄養ケア・マネジメントの実践活動のための倫理、チームに参画する専門職としての役割を理解し、行動ができる。	患者の人格を尊重し、個人の秘密を遵守し監督下での業務活動を行う。 他職種とのコミュニケーションを積極的に行い、チームでの専門職としての役割を監督下で推進する。	レポート及び行動を評価する
2	栄養ケア・マネジメントと情報管理	栄養ケア・マネジメントや栄養サポートチームに必要な情報倫理や情報技術活用の基礎を理解し、説明できる。	臨床栄養師に必要な情報倫理や情報技術活用の基礎を理解して活用できる。	施設内のITを活用したコミュニケーション、プレゼンテーションなどを監督下で行う。	レポート及び行動を評価する
3	科学的論拠に基づいた栄養ケア・マネジメント活動	栄養ケア・マネジメントや栄養サポートチーム業務に必要な科学的論拠の信頼性のレベルや検索方法を理解し、根拠の収集と整理ができる。	栄養ケア・マネジメント業務に必要な科学的論拠の信頼性のレベルや検索方法を理解し、根拠の収集と整理ができる。	業務活動に必要な科学論文を検索、整理し、その概要を監督者及び指導者に報告する。	レポート及び行動を評価する
4	栄養ケア・マネジメントの運営－計画、評価、品質改善活動	【基礎】栄養ケア・マネジメントの概念、栄養ケア・マネジメント構築・運営について理解し、説明ができるための問題の分析と明確化、計画、評価、品質改善活動を理解し、説明ができる。	栄養ケア・マネジメントの概念、栄養ケア・マネジメント構築・運営のための問題の分析と明確化、計画、評価を理解し、栄養ケア・マネジメントに監督下で参画ができる。	研修の場における栄養ケア・マネジメントの手順に従い監督下での業務活動を行う。また、栄養ケア・マネジメントの運営上の問題を分析し解決法を提案、報告する。	レポート及び行動を評価する

		【応用】事例を通じて栄養ケア・マネジメントの質の評価と継続的な品質改善活動について理解し、説明ができる。	監督下で栄養ケア・マネジメントの質の評価と継続的な品質改善活動ができる。	監督下で栄養ケア・マネジメントの評価に参加し、あるいは既存の評価報告に基づいて継続的な品質改善活動について報告する。	レポート及び行動を評価する
5	栄養アセスメント・ 栄養ケア計画	【基礎】栄養アセスメント、栄養ケア計画の基本を理解し、栄養障害例の抽出・栄養ケア計画票が作成でき、早期対応（スクリーニング）ができる。提示された事例の栄養ケア計画票が記入できる。	基本的な症例について、指導を得ながら栄養障害例の抽出・栄養アセスメントから栄養ケア計画までの栄養ケア計画票を作成し、早期に対応する（各研修領域における研修初期に行うこと）。	基本的な1症例について、指導を得ながらスクリーニング、栄養アセスメントから栄養ケア計画までの栄養ケア計画票を作成する（各研修領域における研修初期に行うこと）。	基本的な栄養ケア計画票の作成過程を評価する
		【応用】困難な課題を有する症例（複数の合併症、摂食・嚥下障害、認知症、エンド・オブ・ライフ等）の栄養アセスメント、栄養ケア計画の基本を理解し、提示された事例の栄養ケア計画票が記入できる。	監督下でより困難症例の栄養アセスメント、栄養ケア計画票が作成できる。	より困難な課題を有する症例について、指導を得ながら栄養アセスメントから栄養ケア計画までの栄養ケア計画票を作成する。	より困難な課題を有する症例に対応する栄養ケア計画票の作成過程を評価する
6	特定保健用食品・ 保健機能食品・ 病者用食品の検討	【基礎】特定保健用食品・保健機能食品・病者用食品に関する科学的根拠を理解し、健康・栄養食品の適切な選択とその解説のための基本的事項を理解し、説明できる。	監督下で症例に見合った特定保健用食品・保健機能食品・病者用食品などの健康・栄養食品の適切な選択を行い、患者や専門職に説明できる。	監督下で症例に見合った適切な特定保健用食品・保健機能食品・病者用食品などの健康・栄養食品の選択を行い、患者や他の専門職に説明できる。	選択の根拠及び行動を評価する

6		<p>【応用】困難な症例に対しての効果的な特定保健用食品・保健機能食品・病者用食品に関する科学的根拠を理解し、健康・栄養食品の適切な選択とその解説について理解し、説明できる。</p>	<p>監督下で困難な症例に対しての効果的な特定保健用食品・保健機能食品・病者用食品などの健康・栄養食品の適切な選択を行い、患者や専門職に説明できる。</p>	<p>監督下で困難な症例に対しての効果的な特定保健用食品・保健機能食品・病者用食品などの健康・栄養食品の選択を行い、患者や他の専門職に説明できる。</p>	<p>選択の根拠及び行動を評価する</p>
7	<p>経腸・静脈栄養法</p>	<p>(基礎)監督下で臨床的に安定している患者の経腸・静脈栄養法と栄養ケア計画を理解し、①栄養薬剤・栄養剤・食品の選択・適正使用法の指導、②経静脈栄養剤の側管投与方法・薬剤配合変化の指摘、③経静脈輸液適正調剤法の取得④経静脈栄養のプランニングとモニタリング⑤経腸栄養剤の衛生管理・適正調剤法の指導⑥経腸栄養・経口栄養のプランニングとモニタリング⑦簡易懸抱く濁法の実施と有用性の理解⑧栄養療法に関する合併症予防・発症時の対応⑨栄養療法に関する問題点・リスクの抽出⑩栄養管理についての患者・家族への説明・指導について説明ができる</p>	<p>監督下で臨床的に安定している患者 2 症例以上について経腸・静脈栄養管理の栄養ケア計画を作成し、栄養薬剤・栄養剤・食品の選択・適正使用法の指導、②経静脈栄養剤の側管投与方法・薬剤配合変化の指摘、③経静脈輸液適正調剤法の取得④経静脈栄養のプランニングとモニタリング⑤経腸栄養剤の衛生管理・適正調剤法の指導⑥経腸栄養・経口栄養のプランニングとモニタリング⑦簡易懸抱く濁法の実施と有用性の理解⑧栄養療法に関する合併症予防・発症時の対応⑨栄養療法に関する問題点・リスクの抽出⑩栄養管理についての患者・家族への説明・指導ができる。</p>	<p>監督下で臨床的に安定している患者 2 症例以上について経腸・静脈栄養管理の栄養ケア計画を作成し、栄養薬剤・栄養剤・食品の選択・適正使用法の指導、②経静脈栄養剤の側管投与方法・薬剤配合変化の指摘、③経静脈輸液適正調剤法の取得④経静脈栄養のプランニングとモニタリング⑤経腸栄養剤の衛生管理・適正調剤法の指導⑥経腸栄養・経口栄養のプランニングとモニタリング⑦簡易懸抱く濁法の実施と有用性の理解⑧栄養療法に関する合併症予防・発症時の対応⑨栄養療法に関する問題点・リスクの抽出⑩栄養管理についての患者・家族への説明・指導を実施する。</p>	<p>作成した栄養ケア計画票およびその経緯について面接及び行動を評価する</p>

			【応用】監督下で臨床的に安定している患者の経腸・静脈栄養法から経口移行のための栄養ケア計画を理解し説明できる。	監督下で臨床的に安定している症例についての経腸・静脈栄養法から経口移行計画を作成し、医師の指導のもとに実施できる。	監督下で臨床的に安定している症例について経腸・静脈栄養法からの経口移行計画を作成し、医師の指導のもとに実施する。	作成した栄養ケア計画票およびその経緯について面接及び行動を評価する
8	栄養教育	生活習慣病	軽症生活習慣病の重症化予防・治療に対する栄養教育の基本を理解し、事例への栄養教育を実施するためのアセスメント、計画作成について理解する。	軽症生活習慣病の重症化予防・治療に対する栄養教育の基本を理解し、事例への栄養教育を実施するためのアセスメント、計画作成ができるようになる。	生活習慣病患者の重症化予防・治療に対する栄養教育を実施するためのアセスメント、計画作成を行い、実施、チェック、モニタリングができる。	生活習慣病患者（糖尿病は必須、他に高脂血症、高血圧など）2症例以上の予防・治療の栄養教育のためのアセスメント、計画作成を行い、実施、チェック、モニタリングする。
		低栄養状態	【基礎】軽症低栄養患者の介護予防、重症化予防・治療に対する栄養教育の基本を理解し、事例への栄養教育のためのアセスメント、計画作成ができるようになる。	監督下で低栄養患者の介護予防、重症化予防・治療の栄養教育のためのアセスメント、計画作成を行い、実施、チェック、モニタリングができる。	監督下で介護予防、低栄養患者2症例以上について予防・治療に対する栄養教育のためのアセスメント、計画作成を行い、実施、チェック、モニタリングする。	作成した栄養ケア計画票とその経緯についての面接及び栄養教育現場において行動を評価する
			【応用】困難な低栄養患者【摂食嚥下障害、認知症、エンド・オブ・ライフ等】の重症化予防・治療に対する栄養教育の基本を理解し、事例への栄養教育のためのアセスメント、計画作成ができるようになる。	監督下で困難な低栄養患者【摂食嚥下障害、認知症、エンド・オブ・ライフ等】の重症化予防・治療の栄養教育のためのアセスメント、計画作成を行い、実施、チェック、モニタリングができる。	監督下で困難な低栄養患者【摂食嚥下障害、認知症、エンド・オブ・ライフ等】2症例以上について予防・治療に対する栄養教育のためのアセスメント、計画作成を行い、実施、チェック、モニタリングする。	作成した栄養ケア計画票とその経緯についての面接及び栄養教育現場において行動を評価する

		栄養教育理論	【初級】栄養教育の理論やモデルの基礎を理解し、個別並びにグループ、集団栄養教育の理論の基本的理論を理解し説明できるようになる。	監督下で栄養教育の理論やモデルの基礎に基づいた個別並びにグループ、集団栄養教育の基本的理論を理解し実施できる。	監督下で栄養教育の基本的理論やモデルの基礎に基づき、個人1症例以上並びに集団栄養教育1回以上を実施する。	作成した栄養ケア計画票とその経緯についての面接及び栄養教育現場において行動を評価する
			【中級】行動変容の困難事例やコミュニケーションの困難事例への対応を理解し説明できるようになる。	監督下で行動変容の困難事例やコミュニケーションの困難事例に対応下個別ならびにグループ教育を理解し実施できる。	監督下で行動変容の困難事例やコミュニケーションの困難事例に対応下個別ならびにグループ教育を理解し実施する。	作成した栄養ケア計画票とその経緯についての面接及び栄養教育現場において行動を評価する
9	症例検討と発表		各疾患別の栄養アセスメント、栄養ケアに関する基礎的事項を理解し、比較的軽症な症例の栄養アセスメント、栄養ケア計画、評価を監督下で実施し、症例検討や発表ができる。	各疾患別の栄養アセスメント、栄養ケアに関する基礎的事項を理解し、比較的軽症な症例の栄養アセスメント、栄養ケア計画、評価を監督下で実施し、症例検討や発表ができる。	各疾患別の5症例以上の栄養アセスメント、栄養ケアに関する基礎的事項を理解し、比較的軽症な症例の栄養アセスメント、栄養ケア計画、評価を監督下で実施し、症例検討や発表をする。	作成した栄養管理票とその経緯についての面接及び行動を評価する
10	退院(所)計画・指導		食事・栄養に関する退院計画作成と患者の身体状況、栄養状態に合わせて地域サービス資源を紹介するための基礎的知識と手順を理解し、監督下で調整し、利用者に対して退院計画を説明できる。	食事・栄養に関する退院計画作成と患者の身体状況、栄養状態に合わせて地域サービス資源を紹介するための基礎的知識と手順を理解し、監督下で調整し、利用者に対して退院計画を説明できる。	食事・栄養に関する退院計画作成と患者の身体状況、栄養状態に合わせて地域サービス資源を紹介するための基礎的知識と手順を理解し、監督下で調整し、利用者1症例以上に対して退院計画を立案、説明する。	作成した退院計画票とその経緯についての面接及び行動を評価する

11	在宅・栄養ケア・マネジメント 食事サービス	介護予防及び居宅患者への食事サービス資源を活用した栄養ケア・マネジメント活動を監督下で実施できる。	介護予防及び居宅患者への食事サービス資源を活用した栄養ケア・マネジメント活動を監督下で実施できる。	介護予防及び居宅患者への食事サービス資源を活用した栄養ケア・マネジメント活動を監督下で実施する。	レポート評価及び行動を評価する
12	集団の栄養評価と計画	地域、集団の健康増進、並びに生活習慣病と低栄養予防のための栄養評価と栄養計画の作成・評価の基本的事項を理解し、説明できる。さらに、地域の事例を通じて臨床栄養師の実践活動について理解する。	地域、集団の健康増進、並びに生活習慣病と低栄養予防のための栄養状態の評価と栄養計画の作成・評価活動に参画できる。	地域、集団の健康増進、並びに生活習慣病と低栄養予防のための栄養状態の評価と栄養計画の作成・評価活動に監督下で参画する。	レポート評価及び行動を評価する
13	地域栄養活動(自治体やボランティア活動団体との連携を含む)	地域の食事・栄養計画と自治体やボランティア活動との連携について理解し、説明できる。 異文化や宗教的制限のある人達への栄養ケアについて理解し、説明できる。	地域の食事・栄養計画と自治体やボランティア活動と連携した計画や活動ができる。 異文化や宗教的制限のある人達への栄養ケアや栄養食事指導計画を作成したり、監督下で説明ができる。	地域の食事・栄養計画と自治体やボランティア活動と連携した計画や活動をする。 異文化や宗教的制限のある人達への栄養ケアや栄養食事指導計画を作成したり、監督下で説明する。	レポート評価及び行動を評価する
14	栄養政策と栄養士活動	医療、保健、福祉介護制度と栄養ケア・マネジメントについて理解し、説明ができる。 栄養ケア・マネジメントに関する栄養関連の制度や制度化の過程を理解し、説明ができる。	医療、保健、福祉介護制度と栄養ケア・マネジメントとの関連、栄養ケア・マネジメントに関する栄養を中心とした制度との関連性を実践活動と対応させて理解し、現状の問題と将来展望について説明ができる。	医療、保健、福祉介護制度と栄養ケア・マネジメントとの関連、栄養ケア・マネジメントに関する栄養を中心とした制度との関連性を実践活動と対応させて理解し、現状の問題と将来展望について説明する。	レポート及び面接により評価する

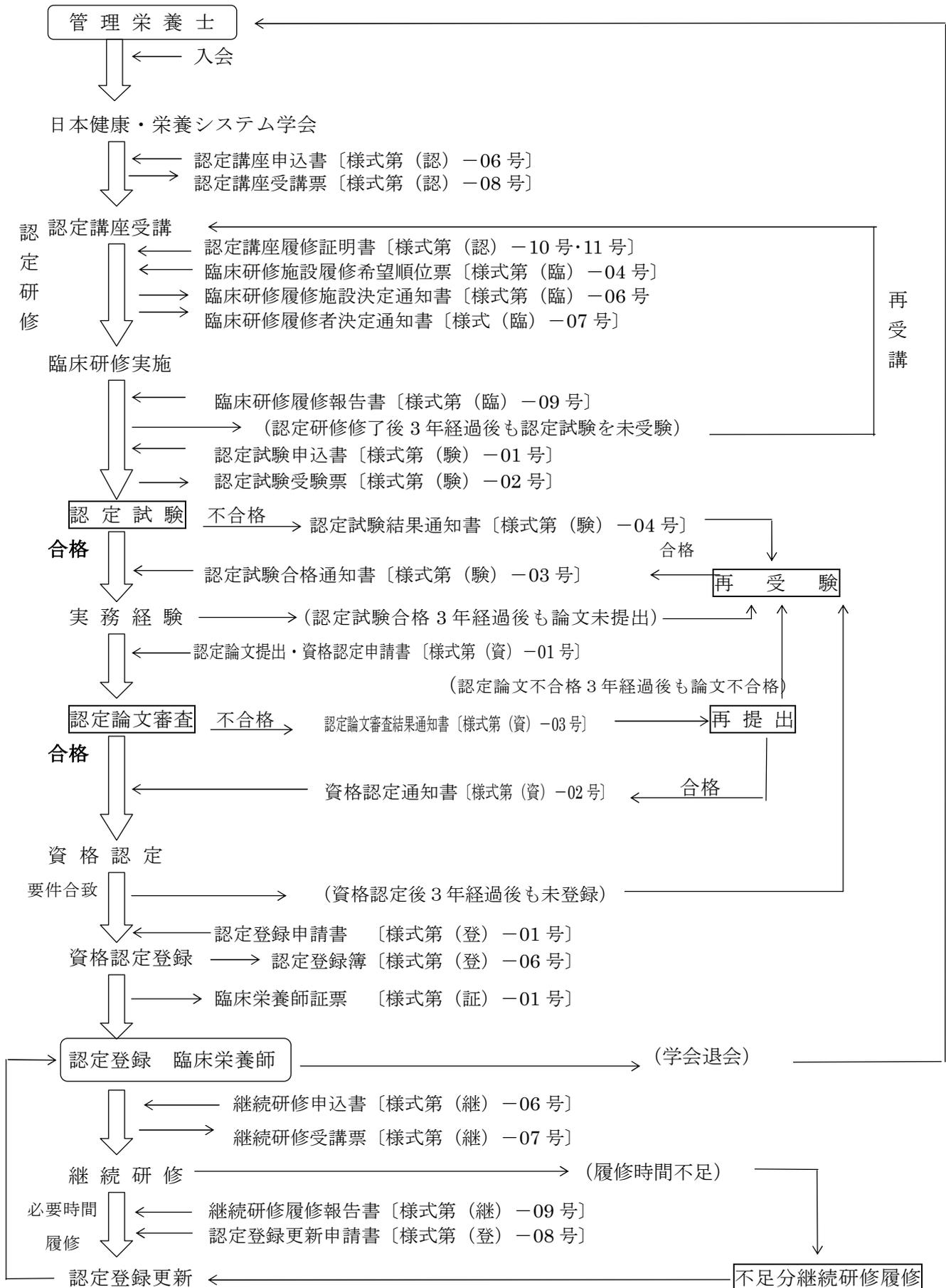
15	給食経営管理	給食管理基準に適応し、コスト、患者の満足感を考慮した給食経営管理の基本的事項、手順並びにその効率化について理解し、説明ができる。 患者の嗜好、身体状況、栄養状態に合わせた食事、食品、栄養剤の調整について理解し、説明ができる。	給食管理基準に適応し、コスト、患者の満足感を考慮した給食経営管理の基本的事項と手順、並びにその効率化について実践活動と関連して理解し、説明ができる。 監督下で、患者の嗜好、身体状況、栄養状態に合わせた食事、食品、栄養剤の調整ができる。	給食管理基準に適応し、コスト、患者の満足感を考慮した給食経営管理の基本的事項と手順、並びにその効率化について実践活動と関連して理解し、説明する。 監督下で、患者の嗜好、身体状況、栄養状態に合わせた食事、食品、栄養剤の調整ができる。	レポート、面接、行動により評価する
16	経営の基礎	栄養関連企業や病院経営事業のビジネス計画・推進について理解し、説明ができる。 財務データの活用を理解し、説明ができる。 マーケティングの基礎を理解し、説明ができる。 人材資源管理の基礎を理解し、説明ができる。 施設管理の基礎を理解し、説明ができる。 診療報酬請求のための基本的事項を理解し、説明ができる。	栄養関連企業や病院経営事業のビジネス計画・推進に監督下で参加できる。財務データの活用を理解し、監督下で実施できる。マーケティングの基礎を理解し、マーケティング活動に参加できる。人材資源管理の基礎を理解し、実践活動と関連して説明ができる。施設管理の基礎を理解し、実践活動と関連して説明ができる。診療報酬請求のための基本的事項を理解し、監督下で実施することができる。	栄養関連企業や病院経営事業のビジネス計画・推進に監督下で参加する。財務データ収集の活用を理解し、監督下で実施する。マーケティングの基礎を理解し、マーケティング活動に参加する。人材資源管理の基礎を理解し、実践活動と関連して説明する。施設管理の基礎を理解し、実践活動と関連して説明する。診療報酬請求のための基本的事項を理解し、監督下で実施する。	レポート、面接により評価する
17	人材教育と自己研鑽、生涯学習	栄養士教育(学生の臨地実習や栄養士などを対象)、自己の業績や経歴書の作成、自己開発のための生涯学習の計画・実施・自己評価のあり方などを理解し、説明ができる。	栄養士教育(学生の臨地実習や栄養士などを対象)、自己の業績や経歴書の作成、自己開発のための生涯学習の計画・実施・自己評価を実施することができる。	栄養士教育(学生の臨地実習や栄養士などを対象)、自己の業績や経歴書の作成、自己開発のための生涯学習の計画・実施・自己評価を実施する	レポート、面接により評価する

18	特別講義	最新の臨床栄養、栄養ケア・マネジメントの知識.技術を習得する	最新の臨床栄養、栄養ケア・マネジメントの知識.技術を習得する	最新の臨床栄養、栄養ケア・マネジメントの知識.技術を臨床において活用できる	レポート、行動により評価する
----	------	--------------------------------	--------------------------------	---------------------------------------	----------------

平成23年度臨床研修予定施設一覧(H.23.1)

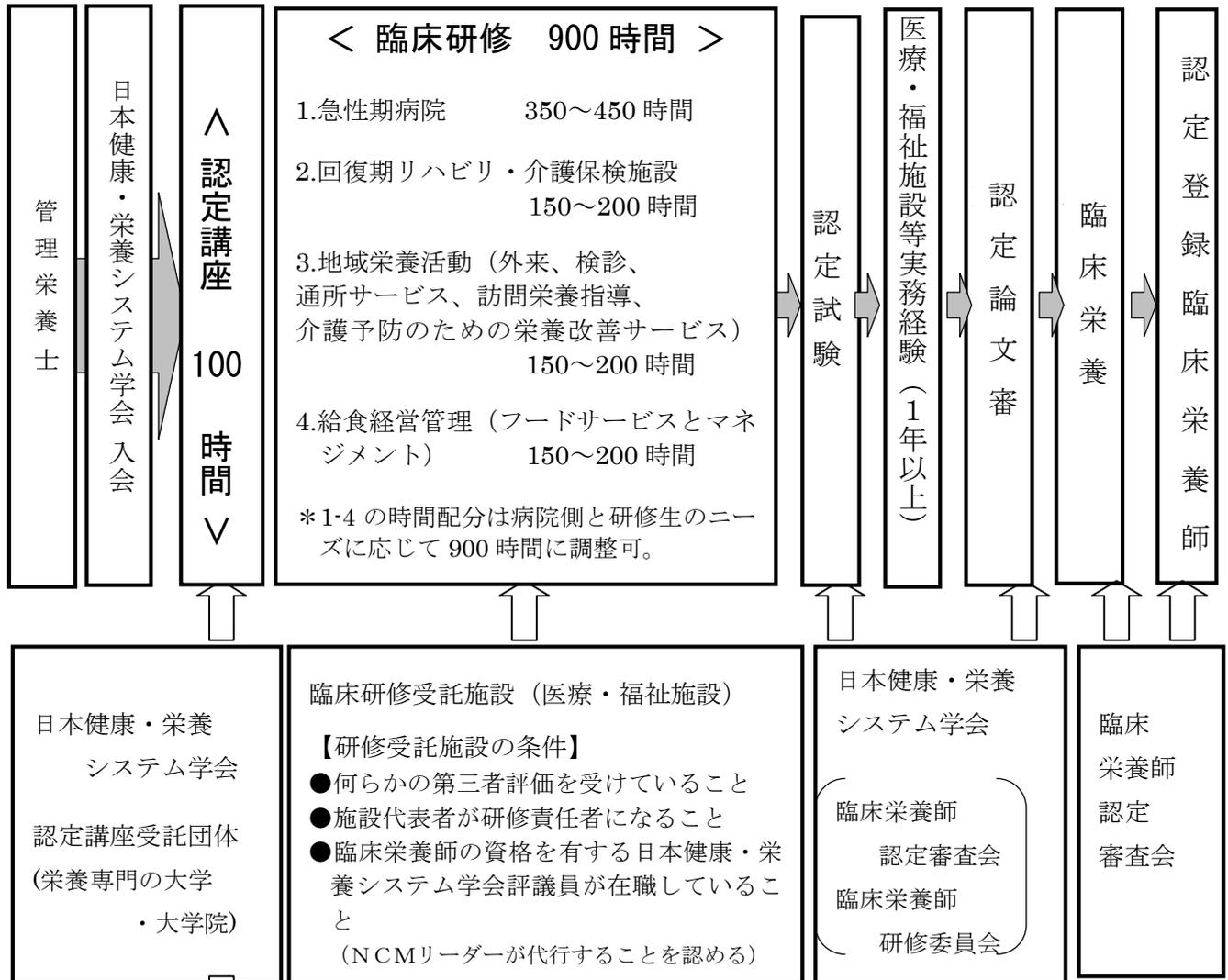
	認定施設名	都道府県
1	(医)柏葉脳神経外科病院	北海道
2	医療法人溪仁会 定山溪病院	北海道
3	(医)永仁会 永仁会病院	宮城県
4	(財)竹田綜合病院	福島県
5	医療法人博仁会 志村大宮病院	茨城県
6	筑波大学附属病院	茨城県
7	(財)脳血管研究所 美原記念病院	群馬県
8	医療法人財団松圓会 東葛クリニック病院	千葉県
9	千葉県がんセンター	千葉県
10	千葉大学医学部附属病院	千葉県
11	東京大学医学部附属病院	東京都
12	社会福祉法人 同胞互助会 特別養護老人ホーム愛全園	東京都
13	東京厚生年金病院	東京都
14	初台リハビリテーション病院	東京都
15	東京都健康長寿医療センター	東京都
16	社会福祉麗寿会 特別養護老人ホームふれあいの森	神奈川県
17	小田原市立病院	神奈川県
18	医療法人三喜会 鶴巻温泉病院	神奈川県
19	(財)積善会 曾我病院	神奈川県
20	社会福祉法人春日会 特別養護老人ホーム等々力	神奈川県
21	介護老人保健施設 銀の舟よこはま	神奈川県
22	恩賜財団 済生会 横浜市東部病院	神奈川県
23	特別養護老人ホーム 等々力	神奈川県
24	特別養護老人ホーム 銀の舟よこはま	神奈川県
25	恩賜財団 済生会 横浜市東部病院	神奈川県
26	特別養護老人ホーム 陽のあたる丘 MISONO	神奈川県
27	JA長野厚生連佐久総合病院	長野県
28	昭和伊南総合病院	長野県
29	社会医療法人財団 慈泉会 相澤病院	長野県
30	社会福祉法人聖霊会 聖霊病院	愛知県
31	小牧市民病院	愛知県
32	愛知県厚生農業協同組合連合会 安城更生病院	愛知県
33	(医)三九会 三九朗病院	愛知県
34	医療法人豊田会 刈谷豊田総合病院	愛知県
35	医療法人社団喜峰会 東海記念病院	愛知県
36	医療法人北辰会 蒲郡厚生館病院	愛知県
37	岐阜社会保険病院	岐阜県
38	(社福)聖隷福祉事業団 聖隷浜松病院	静岡県
39	特別養護老人ホーム 松寿園	兵庫県
40	財団法人仁風会 嵯峨野病院	京都府
41	医療法人社団 千春会 千春会病院	京都府
42	(社医)若弘会 若草第一病院	大阪府
43	(社医)若弘会 わかくさ童間リハビリテーション病院	大阪府
44	星が丘厚生年金病院	大阪府
45	医療法人美杉会 佐藤病院	大阪府
46	医療法人協仁会 小松病院	大阪府
47	医療法人平成博愛会 博愛記念病院	徳島県
48	財団法人厚生年金事業団振興団 九州厚生年金病院	福岡県
49	水俣市立総合医療センター	熊本県
50	医療法人社団 鶴友会 鶴田病院	熊本県
51	医療法人財団聖十字会 西日本病院	熊本県
52	医療法人ちゅうざん会 ちゅうざん病院	沖縄県
53	医療法人緑水会 宜野湾記念病院	沖縄県

臨床栄養師 資格認定・登録の概要



臨床栄養師養成の概要図

← 認定研修 →



認定講座					
1	倫理とチーム活動	2時間	10	退院計画・指導	4時間
2	栄養ケア・マネジメントと情報管理	2時間	11	在宅栄養ケア・マネジメントの運営	3時間
3	科学的論拠に基づいた栄養ケア・マネジメント	2時間	12	集団の栄養評価と計画	6時間
4	栄養ケア・マネジメントの運営	4時間	13	地域栄養活動	2時間
5	栄養アセスメント・栄養ケア計画	7時間	14	栄養政策と栄養士活動	4時間
6	特定保健用食品・保健機能食品・病者用食品	4時間	15	給食経営管理	4時間
			16	経営の基礎	8時間
7	経腸・静脈栄養法	8時間	17	人材教育と自己研鑽、生涯学習	2時間
			18	特別講義	2時間
8	栄養教育	16時間	合計		100時間
9	症例検討と発表	20時間			

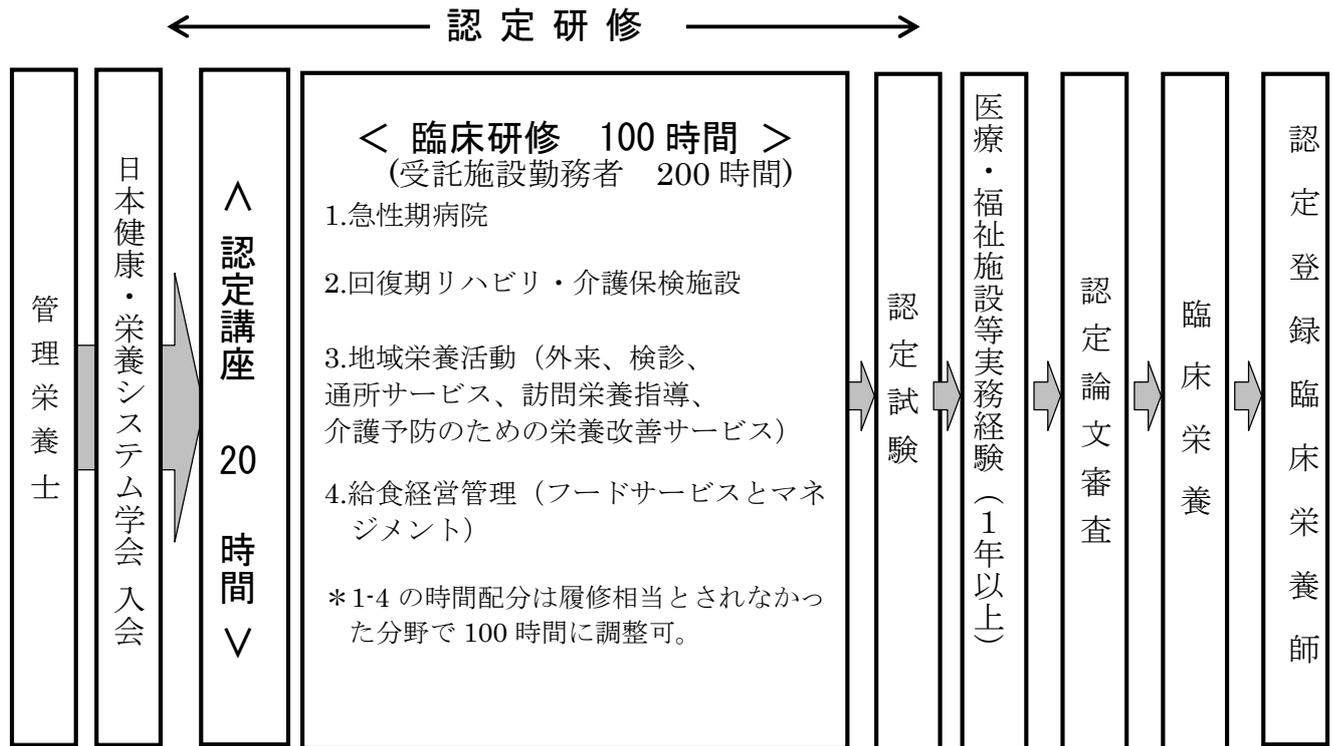
認定講座、臨床研修の履修相当については、臨床栄養師認定研修履修相当細則による。

NCM リーダー・受託施設勤務者の場合

認定講座 80 時間 臨床研修 800 時間（受託施設勤務者は 700 時間）を
履修相当とする

臨床栄養師認定研修履修相当細則より

臨床栄養師養成の概要図



認定講座の履修必要科目（NCM リーダー受託施設勤務者）

認定講座					
1	倫理とチーム活動		10	退院計画・指導	
2	栄養ケア・マネジメントと情報管理		11	在宅栄養ケア・マネジメントの運営	2 時間
3	科学的論拠に基づいた栄養ケア・マネジメント		12	集団の栄養評価と計画	2 時間
4	栄養ケア・マネジメントの運営		13	地域栄養活動	2 時間
5	栄養アセスメント・栄養ケア計画		14	栄養政策と栄養士活動	
6	特定保健用食品・保健機能食品・病者用食品		15	給食経営管理	
			16	経営の基礎	4 時間
7	経腸・静脈栄養法		17	人材教育と自己研鑽、生涯学習	2 時間
			18	特別講義	
8	栄養教育	2 時間			
9	症例検討と発表	6 時間	合計		20 時間

日本健康・栄養システム学会 個人情報の取扱方針

日本健康・栄養システム学会では、個人情報の収集、利用および提供、管理、破棄について、次のように取り扱います。

* 個人情報とは

個人情報とは、個人に関する情報であり、氏名、生年月日その他、特定の個人を識別することができるものをいいます。個人の身体、財産、社会的地位、身分などの属性に関する情報であっても、氏名等と一体となって特定の個人を識別できるものは、個人情報にあたります。また、他の情報と照合することで個人の識別が可能となる場合も個人情報にあたります。

* 収集の制限

個人情報を収集するにあたっては、目的を明確にした上で、必要な範囲内で行うこととします。

* 利用および提供の制限

個人情報は、取り扱い目的の範囲内で利用または提供します。法令等の規定に基づく場合や本人の同意がある場合を除き、取り扱い目的以外の目的に利用したり第三者に提供したりすることはありません。

* 個人情報の管理および廃棄

収集した個人情報については、厳重に管理し、漏えい、改ざん等の防止に努めます。
保存する必要がなくなった個人情報については、確実に、かつ、速やかに消去します。

* 取り扱い方針の改善

個人情報の取扱方針に関して、適宜、内容を見直し改善していきます。

(臨床栄養師資格認定・登録に係る個人情報の取り扱いについて)

臨床栄養師資格認定・登録に関する志願者、受講希望者から収集した個人情報について、次のように取り扱います。

区分	収集した個人情報の取り扱い
臨床栄養師資格認定・登録の手続きをした場合	資格認定者登録簿作成に引き続き利用します。
選考に不合格となった場合	3年間保存後、破棄します。

認定講座・臨床研修 願書提出について(臨床栄養師研修・基礎・応用コース)

出願は、認定講座、臨床研修ともに平成23年5月20日(金)必着(厳守)とする。
提出書類は、要項から外して記入し、全て複写し原本とコピー1部を提出して下さい。
以下の順番でコピー1部のみ左上にホチキス止めをして提出して下さい。

* 期限を厳守の上、簡易書留で郵送にて提出する。

(認定講座)

1. 認定講座申込書(願書)
2. 個人経歴・業績書
3. 住民票
4. 身分証明書(職員証・保険証・勤務証明書など: 運転免許証不可)
5. 振込み済み郵便振替払込金受領書コピー同封
(受講料8万円 テキスト代3万円 計11万円)
* NCMリーダー・大学院生は3万6千円
6. 臨床研修履修相当申請書(履修相当申請の場合のみ)
- (7.) 履修相当を証明する書類(履修相当申請の場合のみ)
* 臨床栄養師認定研修履修相当細則をホームページに
公開いたしますのでご参照ください

(臨床研修)

1. 臨床研修施設希望順位票
2. 研修施設提出用履歴書(市販等・フォーマット自由: 希望施設数分)

* 研修施設のマッチング実施後、臨床研修実施施設決定通知書にてご連絡いたします。
臨床研修施設決定は、6月中旬を予定しています。

* 臨床研修費用は、臨床研修実施施設決定通知書が届いてからお振込下さい。

書類送付先

〒238-8522 神奈川県横須賀市平成町1-10-1
神奈川県立保健福祉大学 栄養学科
一般社団法人 日本健康・栄養システム学会事務局
臨床栄養師研修運営委員会 杉山みち子
TEL/FAX 046-828-2663
mailto:ncm@j-ncm.com
学会ホームページ <http://www.j-ncm.com/>

費用振込先

加入者名 一般社団法人 日本健康・栄養システム学会
口座番号 00190-9-408852

臨床栄養師資格認定・登録にかかる費用一覧

	料金の種別	料 金	NCMリーダー有資格者
学 会	入会費 年会費	5,000円 7,000円	
認定講座	受講料 テキスト代	80,000円 30,000円	16,000円 20,000円
臨床研修	臨床研修料	180,000円*	
認定試験 (年1回)	受験料	13,000円	
認定論文審査	論文指導料 論文審査料	5,000円 15,000円	
資格登録	認定登録料 (章含む)	50,000円	
登録更新	登録更新料	5,000円	
継続研修	継続研修料	1,400円/h	
証票	証票交付料 再交付料	15,000円 15,000円	
章	章再交付料	15,000円	
臨床栄養師研修	基礎 応用	110,000円 110,000円	備考：其々講座30時間、テキスト代、臨床研修70時間、マッチング費用を含める
栄養ケアチーム 研修		50,000円	備考：講座30時間、テキスト代、臨床研修10時間、マッチング費用を含める
栄養サポート 研修		50,000円	備考：講座30時間、テキスト代、臨床研修10時間、マッチング費用を含める

*東京大学付属病院の臨床研修は病院の規定により1日4,800円ですので、別途差額料金が必要です。

臨床栄養師認定講座申込書(願書)

受験番号		
認定講座の種別	1. 臨床栄養師 2. 基礎コース 3. 応用コース	(写真貼付) 上半身 4 × 3 cm
フリガナ		
氏名		
生年月日	大正・昭和__年__月__日生まれ (__)歳	
連絡先住所 自宅・勤務先	〒 -	
TEL		最終学歴
FAX		
公的資格		

認定講座の受講希望者は、上段の申込書および下段の受講票の太枠内に記入し、切り離さずに双方に写真を貼付のうえ、振込済の郵便振替払込金受領証のコピーを同封して協会に郵送で申し込みをしてください。

なお、お振り込みの際には通信欄に「認定講座」と記入願います。

郵便振替口座番号：

加入者名：一般社団法人 日本健康・栄養システム学会

臨床栄養師認定講座受講票

受験番号		
認定講座の種別	1. 臨床栄養師 2. 基礎コース 3. 応用コース	(写真貼付) 上半身 4 × 3 cm
フリガナ		
氏名		
生年月日	大正・昭和__年__月__日生まれ (__)歳	
連絡先住所 自宅・勤務先	〒 -	

※連絡先が勤務先の場合は、必ず勤務先名をご記入願います。

個人経歴・業績書

(臨床栄養師、基礎コース、応用コース)

平成 年 月 日

一般社団法人 日本健康・栄養システム学会
理事長 殿ふりがな
氏名 _____ 印

1. 経歴の概要 (学歴・職業・資格)

項目	年 月 日	内 容
最終学歴		
主な職歴		
現在の勤務先		
現在の業務の詳細について	所属部署名 _____ 役職名 _____	
公的資格 (すべての資格を記入して下さい)	取得年月	資 格 名

2. 著書または論文

区 分	内 容
著 書	
論 文	

* 記入欄が不足の時は別の用紙にご記入下さい。

臨床研修施設履修希望順位票

(臨床栄養師・基礎・応用・栄養ケアチーム・栄養サポートチーム研修用)

記入日 年 月 日

ふりがな	
氏名	
職種	
勤務施設名	
自宅住所	〒
自宅電話	
連絡先(昼間)	

研修領域 (臨床栄養師研修者と基礎・応用コース受講者は希望領域に○を付けてください。)	1. 病院における臨床研修(350~450時間) 2. 回復期リハビリ、医療療養病床病院、介護保険施設における研修(150~200時間) 3. 地域栄養ケア活動研修(150~200時間) 4. 給食経営管理研修(150~200時間) (栄養ケアチームは2の領域、栄養サポートチームは病院となります)
-------------------------------------------------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

研修施設の履修希望順位を記入してください。

第一希望施設	
第二希望施設	
第三希望施設	
第四希望施設	
第五希望施設	

学会記入欄	受付日 年 月 日

一般社団法人 日本健康・栄養システム学会
理事長 殿

平成 年 月 日

氏名 _____ 印

住所 _____

臨床栄養師認定研修履修相当申請書

臨床栄養師認定研修履修相当細則第2条（以下「細則」という。）に基づき、認定研修の履修相当を次のとおり申請します。

号	要件	認定講座時間	臨床研修時間
①	第20回以降管理栄養士国家試験合格	16	—
②	病態栄養専門師、日本糖尿病療養士(平成19年以降資格取得) (平成18年以前資格取得)	30	40
		30	80
③	TNT-D	40	—
④	慢性期医療認定講座	40	—
⑤	全国老人福祉施設協議会栄養ケア・マネジメント研修(平成22年度以降)	8	—
⑥	神奈川県立保健福祉大学実践教育センター栄養ケア・マネジメント課程	100	—
⑦	NCMリーダー（栄養ケア・マネジメント業務経験3年未満）	80	
⑧	同（栄養ケア・マネジメント業務経験3年以上）	80	800
⑨	臨床研修受託施設勤務者(栄養ケア・マネジメント業務経験3年以上)	80	700
⑩	臨床栄養師研修応用修了者（基礎も修了）	60	140
⑪	栄養サポートチーム研修修了者	30	10
⑫	受託研修施設監督責任者	*	*
⑬	臨床栄養師養成を目的とした講義等担当者（対象者1名1時間につき認定講座20分、臨床研修20分）		
⑭	臨床栄養師研修委員会等細則に規定する各種委員会活動(理事長の承認により1年間の活動につき臨床研修60時間)		
⑮	当該学会の研究会、総会、分科会、地方会への終日参加につき認定講座3時間、口頭発表1回につき認定講座3時間		
		認定講	

号	要件	座時間	臨床研修 時間
⑯	査読のなる学会誌への掲載論文 原著筆頭1件につき20時間 () 件 筆頭以外1件につき5時間 () 件 総説の筆頭1件につき30時間 () 件 総説の筆頭以外1件につき10時間 () 件 研究報告の筆頭1件につき10時間 () 件 研究報告の筆頭以外1件につき5時間 () 件 以上は認定講座もしくは臨床研修履修時間に相当		
⑰	栄養学関係の修士課程修了者（大学院履修相当科目細則により臨床栄養師 研修委員会が承認）		
⑱	認定講座受託団体から申請のあった研修（相当時間は臨床栄養師研修委員 会の承認）		
⑲	海外での正規の臨床栄養師等の資格（相当時間は臨床栄養師研修委員会の 承認）		
⑳	その他の事項（相当時間は臨床栄養師研修委員会の判断・承認）		
	計 （各自が合計して記載してください）		
	学会確認時間		
	学会確認印		

※該当する各号、該当する時間全てを○印をつけ、あるいは該当する時間等を記載し、それぞれの申請根拠となる証明書類を添付してください